

要覧ちとせ

千歳略年表

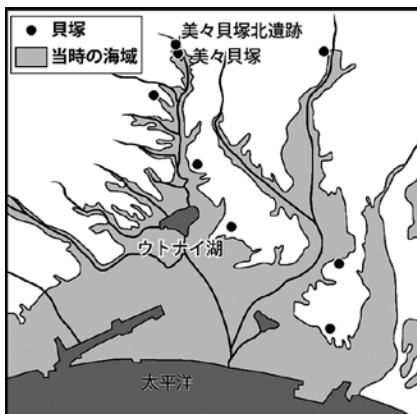
北海道千歳市

1 ちとせ略年表

- 4万2千年前 支笏火山大噴火
- 3万年前 千歳に初めて人が住む（祝梅下層遺跡）
- 2万4千年前 細石刃文化（柏台1遺跡）
- 2万年前 恵庭岳大噴火
- 1万8千年前 細石刃文化（オルイカ2遺跡・祝梅川上田遺跡）
- 1万5千年前 細石刃文化（祝梅上層遺跡・メボシ川2遺跡・オサツ16遺跡）
- 1万4千年前 縄文文化も小規模ながら見られ始める（キウス4遺跡・キウス9遺跡）
- 8千年前 樽前山大噴火
- 7千年前 美々川・美沢川など千歳の川辺に縄文時代の村ができ始める
子供の足跡をつけた土版が作られる（美々7遺跡）
- 6千年前 縄文海進 美々貝塚（市指定史跡）や盛土遺構（美々貝塚北遺跡）が造られる
- 4千年前 環壕が造られる（丸子山遺跡）
- 3千2百年前 中央地区に大規模な集団墓地が造られる（国指定史跡キウス周堤墓群）
石棒（市指定有形文化財）が作られる
- 3千年前 動物形土製品（国指定重要文化財）が作られる（美々4遺跡）
- 2千5百年前 樽前山大噴火
- 2千4百年前 土面（国指定重要文化財）が作られる（ママチ遺跡）
男性土偶（市指定有形文化財）が作られる（ウサクマイA遺跡）
続縄文文化（北海道）・弥生時代（本州）
- 千3百年前 東北より蕨手刀（市指定有形文化財）が伝わる（ウサクマイA遺跡）
擦文文化（ウサクマイC遺跡・ウサクマイN遺跡・未広遺跡・丸子山遺跡）
- 7百年前 アイヌ文化（未広遺跡・美々8遺跡・オサツ2遺跡）
- 3百年前 チャシが造られる（アツテウシ・フレドイヒ・シュトクンネヒ・ベサなどのチャシ）

教育委員会埋蔵文化財センター

縄文海進の様子



教育委員会埋蔵文化財センター



江戸時代末の千歳橋付近

正保元 (1644) 年	「正保御国絵図」シコツ越えが描かれる
万治元 (1658) 年	志古津弁天堂建立 地名「志古津」初出 (『福山秘府』)
寛文6 (1666) 年	僧門空 自作仏像奉納
7 (1667) 年	樽前山大規模噴火
享保9 (1724) 年	東蝦夷地シコツ一餓死者多発
元文4 (1739) 年	樽前山大噴火
享和2 (1802) 年	幕府「蝦夷地奉行 (箱館奉行)」を新設・羽太正養、戸川安論を任命
文化2 (1805) 年	「シコツ川」を「千歳川」と命名 (羽太正養命名)
安政4 (1857) 年	荒井金助・村垣範正 石狩一干歳間道路を開削 松浦武四郎 千歳 (支笏湖) 周辺踏査 (5回目の蝦夷地踏査)
慶応3 (1867) 年	樽前山中噴火
明治2 (1869) 年	千歳・長都・漁・島松・蘭越・烏舞舞6村=胆振国千歳郡編成
20日	高知藩の支配地が千歳郡、勇払郡、夕張郡となる
3 (1870) 年	高知藩開拓者ママチ川両岸に入植
4 (1871) 年	5月 勇払開拓出張所設置
5 (1872) 年	2月3日 樽前山大噴火溶岩円頂丘崩壊
5月	開拓使千歳出張所開庁 (担当 藤田 武三)
10月1日	千歳郵便取扱所設置
6 (1873) 年	12月 新保旅館開業 (千歳初の旅館)
7 (1874) 年	2月8日 室蘭街道 (現・国道36号) 開通 開拓使が千歳に駅通所開設
4月28日	樽前山噴火 (2・16にも噴火)
8 (1875) 年	2月 開拓使千歳出張所廃止、勇払出張所所管となる
11月	開拓使民事局所管となる
10 (1877) 年	11月 稲荷神社 (後の千歳神社)、豊受姫大神を祭り郷社となる
11 (1878) 年	11月13日 支笏湖街道 (沼街道) 開削 (ママチ、藤の沢経由)
12 (1879) 年	7月23日 官営美々鹿肉缶詰製造所開設 (M13~休業、M17・6 廃止)
10月15日	郡区町村編成一苦小牧を本郡とする五郡役場設置 開拓後、郡区町村編 制法施行により管内大小区廃止
13 (1880) 年	3月1日 寺小屋開設 勇払外五郡郡役所開庁 (苦小牧) 千歳郡各村戸長役場開庁 (初代戸長 石山 専蔵) 巡查駐在所分署開設
4月1日	千歳教育所開設 (戸長宅)
14 (1881) 年	9月2日 明治天皇行幸・千歳行在所泊 (新保旅館)
16 (1883) 年	10月7日 樽前山噴火 (10・8、11・15にも噴火)
17 (1884) 年	5月 山口県人31戸・千歳入植 (長岡 源次兵衛外140人)
18 (1885) 年	1月4日 樽前山噴火 (3・26にも噴火)
6月	千歳学校校舎設置 (現・錦町1、民家借り上げ)
19 (1886) 年	4月13日 樽前山噴火 (4・15~16、28にも噴火)
20 (1887) 年	9月3日 樽前山噴火 (10・7~8にも噴火)
21 (1888) 年	12月 さけ・ますふ化場開設 (伊藤 一隆技師)
22 (1889) 年	4月 千歳学校、千歳簡易科小学校となる
23 (1890) 年	8月 千歳由仁道路開通
24 (1891) 年	ケヌフチ神社 (現・泉郷神社) 建立
25 (1892) 年	7月 札幌警察署千歳巡查駐在所開設
26 (1893) 年	千歳原野殖民地区画割完了 (号線設定)
27 (1894) 年	2月 千歳原野殖民地地下開始
2月8日	ネシコシ・オルイカ・ケヌフチ官林解放
3月	樽前山噴火
28 (1895) 年	千歳簡易科小学校新築 (本町3)
29 (1896) 年	7月1日 阿寒湖カバチップ (ヒメマス) 卵移植 (支笏湖)
11月9日	ネシコシ造田本格化
30 (1897) 年	6月13日 千歳郵便局為替・貯金取扱開始 捕魚車 (インディアン水車) 始動 千歳郡漁・島松2村離脱一漁村外一ヶ村戸長役場開庁 (7・15)

明治30 (1897) 年 7月	千歳郡千歳村のうち幌内を長沼に帰属
1日	千歳郡千歳村外四ヶ村戸長役場開庁
32 (1899) 年 9月	長都に私立教育所開設 (土谷弥之進、河本勇吉)
33 (1900) 年 6月	千歳尋常小学校阿宇砂里分教場設置
9月24日	幌加簡易教育所設置
10月8日	嶮淵簡易教育所仮教場設置
11月21日	長都簡易教育所設置
34 (1901) 年 6月3日	長都尋常小学校開校
12月1日	近唐簡易教育所設置
35 (1902) 年 4月	木白簡易教育所設置
39 (1906) 年 9月1日	阿宇砂里簡易教育所設置 ママチ川上に牧場経営 乳牛飼養 (戸田菊治)
41 (1908) 年 1月1日	千歳郵便局電信取扱開始
8月12日	王子製紙苫小牧工場専用鉄道 (山線・王子軽便鉄道) 運行開始 (S26・5・10廃止)
42 (1909) 年 4月	樽前山大噴火 (4・17~19に噴火)
43 (1910) 年 7月12日	王子製紙千歳第1発電所送電開始
大正元 (1912) 年 10月1日	烏柵舞特別教授所設置
11日	千歳郵便局電話通話取扱開始
4 (1915) 年 4月4日	第1回村会議員選挙執行
20日	千歳村2級町村制施行 (千歳・長都・蘭越・烏柵舞村合併4・1)
5 (1916) 年 3月	王子製紙千歳第二発電所完成
6 (1917) 年 4月	嶮淵尋常小学校・近唐尋常小学校・木白尋常小学校・阿宇砂里尋常小学校開校
30日	樽前山噴火 (5・12にも噴火)
12月	私立王子尋常小学校開校 (烏柵舞特別教授所廃止)
7 (1918) 年 5月	樽前山噴火
6月	王子製紙千歳第三発電所完成
6日	千歳小学校高等科新設
13日	新嶮淵尋常小学校仮校舎授業開始
10月	樽前山噴火
10月	嶮淵尋常小学校新築完成
8 (1919) 年 4月1日	農産物検査所開設 (竜丑内=新川)
5月4日	樽前山噴火
9 (1920) 年 7月17日	王子製紙千歳第四発電所完成
10月1日	樽前山噴火 (7・22にも噴火)
12月13日	第1回国勢調査実施 (1,065世帯、5,366人)
10 (1921) 年 7月6日	千歳尋常小学校根志越分教場開設 (根志越青年倶楽部)
11 (1922) 年 4月24日	樽前山噴火
7月	樽前山噴火 (4・25にも噴火)
8月4日	摂政宮支笏湖行啓 (本道初行啓)
12 (1923) 年 2月21日	消防組創設
13 (1924) 年 4月1日	樽前山噴火 (このほか6~8月に噴火)
6月	嶮淵小学校高等科併置
7月	根志越特別教授所開設 (旧・千歳尋常小学校分教場)
9月	国立公園地域編入の請願、「支笏湖」を「千歳湖」に改名する上申書提出
15 (1926) 年 5月1日	「北海道千歳郡千歳村字『ママチ』二航空場設置ノ件」衆議院請願委員会採択
8月22日	千歳地方ひょうの害 農地被害1,400ha・被害額10,500円
10月	釜加特別教授所開設
22日	北海道鉄道札幌線 (苗穂一沼の端) 開業 千歳・美々駅設置 (H29・3・3廃止)
昭和3 (1928) 年 9月	樽前山噴火 (10・19、24、26、30) 小樽新聞社機「北海」第1号千歳着陸場飛来 樽前山噴火 (9・6、10・25にも噴火)

- 昭和4 (1929) 年 9月 千歳市街電灯供用開始
5 (1930) 年 6月22日 「キウスチャシ」(周堤墓群)史跡仮指定(～S24)
6 (1931) 年 4月 烏柵舞尋常高等小学校開校(旧・私立王子尋常高等小学校)
8 (1933) 年 2月 第1次千歳村経済更生計画樹立
5月 美笛 金鉱脈第1露頭発見
9 (1934) 年 10月28日 千歳飛行場開場式 北海タイムス社機「北斗」飛来
10 (1935) 年 9月24日 千歳郵便局電話交換開始
市街通話開始
10月 中島商事、鉱山操業開始(美笛/10月～金採掘開始 坑外専用軌道敷設
=ガソリン機関車5両配置)(S27・7千歳鉱山軌道廃止)
11 (1936) 年 9月 支笏湖郵便局開局(水溜郵便取扱所廃止)
胆振嶮淵郵便局開局
10月 千歳鉱山(株)創立 金採掘本格開発(美笛)
5日 第34回陸軍特別大演習期間中旅客機便臨時就航(千歳-羽田)
11月15日 樽前山噴火(11・25にも噴火)
12 (1937) 年 2月15日 千歳鉱山特別教授所開設
12月 支笏湖郵便局集配・電信電話取扱開始(集配三等局昇格)
13 (1938) 年 4月11日 第2次経済更生計画樹立・特別助成村指定
8月11日 美笛郵便局開局
10月13日 都市計画区域指定
14 (1939) 年 4月1日 千歳村1級町村制施行
8月27日 日本初世界一周機「ニッポン」、米アラスカ州ノームに向け発航
11月 札幌警察署千歳警部補派出所開設
1日 千歳海軍航空隊開庁(陸上攻撃機・艦上戦闘機部隊)(5日開隊式/S
18・3・1解隊)
12月 千歳鉱山製錬所完成
17日 北海道農産物検査所札幌支店千歳出張所開設(由仁町字三川)
千歳農業会内駐在所開設
15 (1940) 年 3月 胆振種馬所千歳種付所開設(嶮淵)
4月 北海道林産物検査所札幌支所千歳駐在所開設(S19北海道石狩千歳林産
物検査所)
16 (1941) 年 10月1日 木更津海軍航空廠大湊支廠千歳分工場設置(S17第41海軍航空廠千歳
支廠、S19千歳が本廠)
11月 コンクリート道路完成(千歳駅-航空隊営門)
17 (1942) 年 1月 北海少年院開設
21日 美笛郵便局電信電話取扱開始
4月1日 北海道食糧営団千歳出張所開設
5月1日 町制施行(初代町長 岡本 幸信)
7月2日 千歳第一土地区画整理組合設立認可
18 (1943) 年 1月16日 森林組合設立
2月1日 千歳町国民健康保険組合事業開始
4月1日 金鉱業務整備令実施、千歳鉱山休山(保坑)
8月1日 鉄道省 北海道鉄道戦時買収(バス部門戦時統合北海道中央乗合自動車)
19 (1944) 年 1月1日 千歳電話中継所開設
5月20日 千歳農業会発足(農会・産業組合統合)
7月2日 樽前山噴火
20 (1945) 年 10月5日 連合国軍米軍進駐(第5航空軍)
15日 終戦連絡札幌事務所千歳出張所開設(S23廃止)
31日 札幌財務局千歳管財出張所開設
21 (1946) 年 4月1日 千歳第二国民学校開校(3月根志越特別教授所廃止)
11月1日 日本医療団千歳病院開設(開院S22・1、S23・8・1北海道移管)
20日 蘭越国民学校開校
12月24日 札幌日僑勤労署千歳出張所開設
22 (1947) 年 1月12日 日本医療団千歳病院開院(旧・海軍航空基地営外酒保)(S23・10道立
千歳病院となる)

- 昭和22 (1947) 年 4月1日 札幌土木現業所千歳派出所開設
北海道作物報告事務所千歳出張所開設
5日 民選初町長選挙 (第1回統一地方選挙 2代町長 山崎 友吉当選)
30日 町議会議員選挙
5月 恵庭営林署千歳・烏柵舞・紋別担当区事務所開設
1日 鉦山中学校開校
6月 千歳中学校開校・幌加中学校開校
7月 総合計画樹立
1日 北海道中央乗合自動車 (現・中央バス) 札幌-千歳間バス運行開始
(9・1本町に千歳営業所新設)
9月23日 湖畔・東部 (由仁町三川) 支所開設
23 (1948) 年 1月 札幌保健所千歳支所設置
2月22日 千歳駅全焼
3月2日 千歳渉外労務管理事務所開設 (旧・2代役場庁舎)
7日 自治体警察・千歳町警察発足
26日 東千歳農業協同組合設立認可
4月8日 千歳町開拓農業協同組合設立認可
14日 千歳町農業協同組合設立認可
6月1日 千歳第3小学校開校 (S43・7廃校)
8月20日 東千歳開拓農業協同組合設立認可
12月1日 札幌保健所千歳支所が江別保健所千歳支所に改称
20日 道立野幌高等学校千歳分校 (千歳中学校併置/後の千歳高校) 開校 (S
24・5・1開校式)
31日 千歳駅完成 (3代目)
烏柵舞小学校移転新築
24 (1949) 年 1月 特別調達庁札幌調達局千歳調達事務所開設 (現・防衛事務所)
29日 支笏湖小学校開校
4月 米陸軍第7歩兵師団来駐
8日 札幌公共職業安定所千歳出張所開設
13日 千歳商工会設立
5月16日 支笏洞爺国立公園指定
24日 千歳観光協会設立
30日 千歳町開拓生産農業協同組合設立認可 (6・25設立)
6月10日 千歳第一土地区画整理事業完了
10月17日 「開町」70年記念式典挙行
『躍進千歳の姿』刊行 (千歳初の史書)
25 (1950) 年 4月1日 道立野幌高等学校千歳分校、豊平町立月寒高等学校千歳分校に変更
30日 北海道千歳高等学校独立設置認可 (5・2開校)
5月23日 役場庁舎移転 (東雲町1丁目)
8月25日 警察予備隊千歳臨時部隊駐屯 (100ビル)
27・28日 千歳川流域大雨水害
9月23日 千歳音頭発表 (支笏湖畔)
26 (1951) 年 1月29日 樽前山噴火 (7・28にも噴火)
4月23日 町長・町議会議員選挙 (無投票/2代町長 山崎 友吉再選)
27日 米陸軍第45歩兵師団 (オクラホマ州兵部隊) 朝鮮出兵のため来駐
5月 美笹支所開設 (S52・11・30閉鎖)
10日 王子軽便鉄道 (山線) 廃止
7月 開発建設部千歳出張所開設
20日 農業委員会発足 第1回農業委員選挙
8月頃 米空軍千歳基地 北海道空港 (北海道の拠点空港) 指定
10月25日 民間航空再開・日本航空千歳空港所開設
26日 日本航空就航 (千歳-羽田)
12月 千歳中学校新築移転 (栄町4丁目)
米陸軍第1騎兵師団朝鮮から来駐 (S30・3撤退完了)
27 (1952) 年 4月 東千歳中学校開校

- 昭和27 (1952) 年 5月1日 町章制定 町制施行10周年記念式挙行
7月 千歳鉱山軌道撤去
10月5日 町教育委員選挙
30日 千歳町警察の存廃を決める住民投票 (廃止決定)
11月1日 教育委員会発足
12月4日 室蘭街道 一級国道36号となる (S40・4・1一般国道36号)
12日 保安隊千歳駐屯地開庁 (現・北千歳)
- 28 (1953) 年 1月1日 国警札幌方面千歳地区警察署開設 (千歳町警察廃止)
28日 千歳駅全焼
3月30日 千歳第2次都市計画施行区域決定
4月1日 千歳少年院開院
5月21日 千歳駅前巡査派出所開設
25日 北栄小学校開校
8月8日 胆振千歳郵便局新庁舎完成 (本町3丁目)
9月14日 樽前山噴火
10月1日 消防本部新庁舎完成 (東雲町2丁目)
3日 千歳保健所開設 (江別保健所千歳支所昇格)
11月2日 千歳 (千歳橋) - 札幌 (豊平町定山溪鉄道路踏切) 間道路舗装竣工 = 「弾丸道路」
- 29 (1954) 年 3月 青葉公園敷地の払い下げを受ける
4月1日 町立千歳高等学校道立移管
千歳駅完成 (4代目)
18日 千歳公民館開館
支笏湖畔集団施設地区指定
樽前山噴火 (11・19にも噴火)
5月2日 千歳保育所開設
5日 千歳保健所新庁舎完成 (東雲町4丁目)
16日 千歳町体育協会発足
29日 第1回支笏湖湖水まつり (千歳・苫小牧共催)
6月26・27日 北海道札幌方面千歳警察署となる
7月1日 日本ヘリコプター輸送 (現・ANA) 就航
8月10日 昭和天皇・香淳皇后御来町 (全国巡幸最終奉迎地)
23日 陸上自衛隊東千歳駐屯地開庁
25日 米空軍第4戦闘要撃航空団来駐
9月 陸上自衛隊第1特科団来駐
15日 陸上自衛隊第11普通科連隊東千歳来駐
23日 洞爺丸台風 (15号台風)、支笏湖樽前山一帯森林大被害
26日 大火 幸町2丁目出火・17棟全半焼
11月5日 上水道給水開始
- 30 (1955) 年 1月 樽前山噴火
2月4日 町長・町議会議員選挙 (2代町長 山崎 友吉再選)
4月30日 農村地区の有線放送通話開始
5月23日 長都中学校開校 (H17・3閉校)
6月 ディーゼルカー (キハ17) 運行
7月22日 千歳・追分地方局地的豪雨 ケヌフチ・ママチ川氾濫・被害額7,407千円
9月1日 札幌税関支署千歳出張所開設
11日 大火 幸町1丁目出火・全半焼144棟・罹災世帯160・被害額13,925千円
- 31 (1956) 年 1月 駒里・中央・泉郷・水明中学校が千歳中学校から独立開校
3月 青葉公園都市計画公園認可
4月 末広小学校開校
5月 千歳川・ケヌフチ川改修着工 (長都原野開発事業所)
6月 南長都地区開拓計画実施
18日 北栄小学校で石狩管内最初の完全学校給食を開始
8月5日 町営と場開設 (北信濃)
9月15日 冷害 (40数年来)

- 昭和31 (1956) 年 12月1日 公益質屋開設 (S43・3・1 廃止)
- 32 (1957) 年 4月1日 緑小学校開校
- 5月1日 航空自衛隊第2航空団先遣隊移駐 (5・20飛行隊移駐)、(浜松から・千歳飛行場周辺でF-86F×2墜落)
- 8月 青葉中学校開校
- 24日 第2航空団主力移駐 (浜松・F-86F 装備)
- 9月2日 航空自衛隊千歳基地開庁
- 10月1日 町内字名廃止
- 33 (1958) 年 3月1日 役場庁舎完成移転 (東雲町2丁目)
公民館移転 (東雲町1丁目 旧・町役場庁舎)
国鉄長都仮乗降場開設
- 5月1日 真々地保育所開設 (H24・3・31民営化、あずさつくし保育園として移転開園)
- 6月 米空軍完全撤退
- 23日 天皇陛下 (皇太子殿下として) 支笏湖御遊覧
- 7月1日 市制施行 (初代市長 山崎 友吉)
千歳駅前郵便局開局
千歳特別無線中継所開設
長都駅開業
- 8月 本町巡查派出所開設
- 9月 モーラップ野営場市移管
- 11月1日 市営ガス事業供給開始
- 12日 美笛一大滝間道路開通式・丸駒-石山間道路開通 (S34豪雨土砂崩れにより不通)
- 12月 消防庁舎完成
- 34 (1959) 年 2月1日 千歳救難隊編成完結 (T-6・H-19装備)
- 4月20日 水明小中学校藤の沢分校開校 (S42・3 廃止)
- 23日 豪雨 河川氾濫・道路決壊・被害額2,332千円
- 30日 市長選挙 (2代市長 米田 忠雄当選)
市議会議員選挙
- 9月5・6日 局地的雷雨 美笛川橋梁流出・道路決壊・被害額2,332千円
- 24日 「開基」80年記念式典挙行 千歳市賛歌制定
- 35 (1960) 年 4月 国民健康保険事業開始
- 5月 千歳小学校特殊学級 (児童会館内=旧・幸病院) 設置
- 7月1日 ディーゼル急行「すずらん」運行
- 8月4日 全国レクリエーション大会開催 (支笏湖)
- 11月8日 千歳商工会議所設立
- 36 (1961) 年 5月1日 大火 幸町5丁目出火 (全半焼30棟・罹災世帯70・損害額5,452万円)
- 16日 市議会解散決定 (リコール住民投票)
- 24日 昭和天皇・香淳皇后をお迎え、第12回植樹行事及び国土緑化大会開催 (支笏湖モーラップ山麓)
- 6月20日 市議会議員選挙 (解散による一般選挙)
- 7月24・25日 水害 下釜加・長都地方 住宅浸水189戸・被害額79,711千円
- 28日 千歳川切替工事完了根志越橋下流約6,000m新水路完成
- 8月11・12日 第3回国立公園大会開催 (支笏湖・モーラップ)
- 10月25日 公害対策協議会設立
- 30日 クマ・ステーション命名 (S35~38米軍第3基地集約/主力=ASA千歳)
- 11月25日 電話自動化 即時通話化 (札幌・恵庭・支笏湖畔等)
- 12月1日 千歳飛行場東側滑走路供用開始
- 37 (1962) 年 1月6日 陸上自衛隊第1特科団北千歳駐屯地移駐
- 18日 陸上自衛隊第7混成団東千歳駐屯地来駐
- 3月12日 交通安全都市宣言
- 4月 千歳中学校特殊学級設置 (千歳児童会管内)
- 7月28日 幌加峠改修工事完了
- 8月3日 台風9・10号来襲 被害額78,600千円

- 昭和37 (1962) 年 8月15日 陸上自衛隊第7混成団改編 第7師団創設 (東千歳駐屯地)
 9月15日 航空自衛隊千歳基地F-104J型戦闘機配備 (第2航空団)
 11月8日 市民会館開館
 12月1日 蘭越生活会館開館
 14日 千歳小学校・千歳中学校校舎新築 (16日落成式典)
 20日 企業誘致第1号新世乳業操業開始
- 38 (1963) 年 4月1日 千歳空港ターミナルビル供用開始
 空港警備警察官派出所開設 (H6改称・空港警備派出所)
 30日 市長選挙 (2代市長 米田 忠雄再選)
 5月24日 強風 農作物被害・被害額24,286千円
 6月 市営牧野開設 (美々)
 15日 支笏湖診療所診療開始
 7月20日 「千歳民報」創刊
 12月 千歳市総合建設計画樹立
 15日 国設モーラップスキー場開設 (H6休止)
- 39 (1964) 年 1月 道立千歳高等学校新校舎に移転
 4月1日 NHK受信料市街地周辺半額免除 (航空機騒音)
 2日 消防団東千歳分団設置
 4日 消防団支笏湖分団設置
 4日 新産業都市建設促進法指定
 5月 水明小学校廃校 (藤の沢分校は千歳小学校分校となる)
 水明中学校藤の沢分校は水明中学校に統合
 6月3・4日 大雨水害 釜加地方・被害額66,800千円
 7月10日 公共下水道事業着手
 8月7～9日 第1回千歳空港まつり開催 (S49～56中止/H9～スカイ&ビアフェスタ)
 9月9・10日 オリンピック東京大会聖火空路到着 市内5区間リレー (空港～長都川
 左岸)
 10月1日 給食センター開設 (東雲町4丁目)
 16日 末広保育所開設
 12月1日 蘭越浄水場通水式
 12日 第二小学校新築移転
 16日 末広郵便局開局
- 40 (1965) 年 2月15日 豪雪 美笛地区降雪40cm・260世帯孤立
 4月 洞爺支笏湖線 (現・国道276号) 主要道道認可
 千歳小学校藤の沢分校が藤の沢小学校として独立開校
 5月25日 市議会議員選挙
 8月10日 丸市魚菜卸売市場業務開始
 22日 電話・全国即時通話化 (全国主要520地域)
 9月10日 台風23号来襲 住宅浸水133戸・農業被害311ha・美笛地区被害甚大
 (死者2名)
 27日 国鉄千歳線千歳恵庭間複線化
 10月30日 東千歳調理場 (学校給食第2センター) 新築落成 (H5・7・22開所)
 12月1日 千歳北栄郵便局開局
 16日 暴力追放都市宣言
- 41 (1966) 年 3月 水明中学校閉校
 8月17～21日 集中豪雨・被害額47,845千円
 11月11日 市営工場団地立地企業第1号北海道民芸木工(株)千歳工場操業
 12月22日 清く明るく正しい選挙都市宣言
 23日 末広し尿処理場完成
- 42 (1967) 年 1月 日の出小学校開校
 3月 藤の沢小学校廃校
 4月1日 千歳市立病院開院 (旧・道立千歳病院移管)
 28日 市長・市議会議員補欠選挙 (2代市長 米田 忠雄再選)
 5月 北栄警察官派出所 (現・新富交番) 開所
 7月7日 用途地域指定 (1,302ha)

- 昭和42 (1967) 年 9月20日 北海道初有料道路「支笏湖畔有料道路」(6.97km) 開通
 10月 市営食肉処理センター開設 (美々・H4 廃止)
 25日 農村集団自動電話開通 (567戸)
 26日 市内路線バス運行開始 (中央バス、千歳バス)
 千歳バス開業 (S50・12・19 千歳相互観光バス譲渡)
- 43 (1968) 年 11月25日 千歳空港乗降客年間100万人突破
 2月25日 第1回市功労者表彰
 3月27日 青少年健全育成都市宣言
 泉郷小中学校廃校
 4月1日 信濃小学校開校
 5月16日 十勝沖地震発生 市内全域被害・被害額16,375千円
 7月 千歳第3小学校廃校
 17日 千歳消費者協会設立
 8月30日 歩道橋完成 (市内初・千歳小学校前)
 9月 島松千歳線道道認可
 11月10日 胆振千歳郵便局新築移転 (東雲町3丁目)
 12月1日 千歳春日郵便局開局
 18日 キウス環状土籬群 (周堤墓群)、北海道文化財 (史跡) 指定 (S54国指定)
- 44 (1969) 年 1月 北栄保育所開設
 3月31日 市消防に化学消防車配備
 4月21日 千歳市長一行アンカレッジ市訪問 姉妹都市盟約書調印
 5月21日 市議会議員選挙
 8月2日 「開基」90年記念式典挙行 『千歳市史』刊行
 9月 都市診断を報告 (東洋大学学長 磯村 英一)
 11月10日 千歳中学校完全防音体育館完成 (北海道初)
 12月6日 青少年会館開館
 20日 青年の家支笏湖青少年研修センター開所 (H17・3・31閉所)
- 45 (1970) 年 2月8日 全日本冬季総合大会滑降競技大会開催 (8日女子・12日男子・恵庭岳・12日 滑降コース)
 3月16~20日 雪害 道道洞爺支笏湖線全線不通・苫小牧営林署員行方不明
 4月 高台小学校開校
 大型旅客機就航 (日航・DC-8型 全日空・ボーイング727型)
 6月29日 スポーツ都市宣言
 航空自衛隊第3高射群新編完結 (千歳基地)
 8月 第1回市民納涼盆踊り大会
 9月16日 江別市有林約634ha売買契約締結
 12月1日 千歳飛行場東側3,000m滑走路供用開始
 18日 消防署富丘出張所開所
- 46 (1971) 年 1月 東小学校開校 (幌加・協和・東丘小学校統合)
 2月5~10日 滑降競技大会開催・恵庭岳滑降コース
 7~13日 札幌国際冬季スポーツ大会 (プレオリンピック)
 3月31日 米軍クマ・ステーション閉鎖 (東千歳)
 4月 北進小・中学校開校 (旧・千歳小・中学校北栄分校)
 1日 千歳市第2期総合開発計画スタート
 10日 公民館新築開館
 25日 市長・市議会議員補欠選挙 (2代市長 米田 忠雄再選)
 5月15日 市街化区域及び市街化調整区域決定
 6月30日 千歳渉外労務管理事務所閉鎖
 7月5日 千歳公民館長都分館新築開館
 8月20日 第1回千歳川まつり (現・千歳川清掃)
 12月4日 道央自動車道 (高速千歳IC-北広島IC) 開通
- 47 (1972) 年 1月17日 真町中学校開校
 29日 第11回オリンピック冬季大会聖火市内リレー
 2月3~13日 第11回オリンピック札幌冬季大会

- 昭和47 (1972) 年 2月5・7日 オリンピック冬季大会滑降競技大会開催 (5日女子・7日男子・恵庭岳滑降コース)
- 3月 中央中学校廃校 (真町中学校統合)
- 24日 陸上自衛隊第1高射団編成 (東千歳/後の第1高射特科団)
- 6月28日 北栄・新富が自治省モデルコミュニティ地区指定
- 7月1日 養護老人ホーム「千寿園」開設
- 9月19日 道央自動車道 (高速千歳IC—北広島IC) 4車線全面開通
- 12月20日 千歳市土地開発公社設立 (H26・3・31解散)
- 48 (1973) 年 1月 青葉中学校校舎新築移転
- 15日 広報「ちとせ」発刊500号
- 25日 千歳恵庭高等職業訓練所開校
- 2月28日 公設卸売市場開業
- 3月16日 ガス工場移転 (第1工業団地)
- 4月 北海道千歳北陽高校開校 (中央仮校舎)
- ガス水道局庁舎移転 (旧・拓銀・本町3丁目)
- 千歳市民生委員連絡協議会発足
- 1日 千歳手形交換所開設
- 5月20日 市議会議員選挙
- 6月3日 千歳共同仕入センター完成
- 7日 F-104J型戦闘機墜落 (祝梅)
- 10月1日 乳幼児・寝たきり老人医療費無料化実施
- 17日 長都大橋完成
- 12月4日 市道第2停車場線 (旧・中央大通) 東11線—9線間開通
- 49 (1974) 年 1月20日 北新コミュニティセンター開設
- 3月 未広小学校新築移転
- 4月1日 「市民カレンダー」発行開始
- 学校給食センター新築移転 (第2工業団地)
- 17日 大型旅客機就航 (日航ボーイング747型 全日空L-1011型)
- 東千歳中学校校舎落成
- 共同火葬場新築移転 (根志越)
- 7月1日 千歳市医師会による救急急病当番病院制度開始
- 8月1～6日 ボーイスカウト第6回日本ジャンボリー開催 (千歳原=東千歳)
- 4～6日 皇太子殿下、千歳御滞在
- 10月1日 航空自衛隊千歳基地F-4EJ型戦闘機配備 (第2航空団)
- 17日 支笏湖勤労青少年フレンドシップセンター開設 (H15・3閉所)
- 11月1日 人口6万人突破
- 12月1日 東亜国内航空機就航 (丘珠から移転/H16・4・1合併 (日本航空ブランド))
- 50 (1975) 年 1月 住吉保育園開設
- 2月12日 千歳市・恵庭市境界問題解決「境界確認に関する協定書」調印 (千歳市上長都地区)
- 4月 富丘中学校開校
- 27日 市長選挙 (3代市長 東峰 元次当選)
- 市議会議員補欠選挙
- 30日 支笏湖温泉通湯式 (39℃ナトリウム—炭酸水素塩泉)
- 6月1日 支笏湖自然の村開村
- 30日 米軍千歳基地完全閉鎖
- 8月10日 美々貝塚発掘調査
- 23日 台風6号来襲 ケヌフチ川決壊・被害額395,000千円・祝梅川溢水ほか
- 12月19日 千歳相互観光バス運行開始 (千歳バス継承)
- 27日 北海道千歳北陽高校新築移転 (現・北陽)
- この年 支笏湖ヒメマス水かび病発生・全面禁漁～S53
- 51 (1976) 年 4月 千歳医師会准看護学院開校 (S55・4改称—看護高等専修学校)
- 1日 青少年指標制定
- 祝梅小学校開校

- 昭和51 (1976) 年 4月1日 市立図書館開館
市立病院増改築し、千歳市立総合病院と改称
23日 千歳市婦人団体協議会発足 (現・千歳市女性団体協議会)
26日 市庁舎新築移転 (現・本庁舎)
5月1日 下水終末処理場運転開始
8日 北信濃コミュニティセンター開設
6月1日 支笏湖ヒメマス釣り2年ぶりに解禁 (～7月)
8月21日 国鉄千歳線開通50周年記念式典
10月22日 千歳飛行場開設50周年記念式典
12月21日 国鉄千歳線高架事業都市計画決定
- 52 (1977) 年 4月23日 美々貝塚が市史跡指定、磨製石棒・男性土偶・駅遙看板が市有形文化財指定
5月22日 市議会議員選挙
7月23日 国設美笛野営場開設
9月19日 支笏湖畔国民休暇村開業 (全国28番目、道内初)
10月16日 第1回支笏湖紅葉まつり開催
11月15日 千歳鉱山職住分離完了
30日 美笛支所閉鎖
- 53 (1978) 年 1月11日 千歳消防団美笛分団解団式
3月31日 鉱山小中学校廃校
蘭越小学校廃校 (緑小学校統合)
支笏湖自然の村閉村
4月1日 桜木小学校開校
5月14日 樽前山小噴火 (苫小牧測候所推定・22時53分～23時36分)
6月17日 スポーツセンター開設
8月14日 泉沢開発造成工事着手 (11日「泉沢向陽台」命名)
9月7日 千歳空港国際化促進道民大会 (札幌市)
10月16日 千歳富丘郵便局開局
23日 恵庭営林署千歳地区合同担当区事務所新築移転 (桂木)
11月 千歳商工技術研修センター落成
16日 消防総合庁舎新築移転 (現・消防庁舎)
30日 ニチイ千歳ショッピングデパート開店 (現・イオン千歳店)
12月1日 千歳飛行場東側滑走路南方移動供用開始
23日 泉沢市民スキー場開設
- 54 (1979) 年 1月30日 第1回千歳支笏湖水濤まつり開催
2月11日 千歳空港利用客通算乗降客数5000万人達成 (全国4番目)
3月1日 戸長役場開設100年記念式典
11日 富丘コミュニティセンター開設
4月1日 特別養護老人ホーム「暢寿園」開園
22日 市長・市議会議員補欠選挙 (3代市長 東峰 元次無投票再選)
5月22日 千歳市民友好訪中団出発
23日 ウサクマイ遺跡群、国史跡指定
6月6日 動物形土製品、国重要文化財指定
7月1日 市民憲章制定
8月4日 「開基」100年記念式典挙行
10月7・8日 第1回千歳川さけ祭り (現・インディアン水車まつり) 開催
23日 キウス周堤墓群、国史跡指定
24日 千歳市防災訓練 (真々地地区)
25日 泉郷獅子舞、市無形文化財指定
11月9日 姉妹都市提携10周年記念式典 (サリバン・アンカレジ市長来千)
17日 泉沢向陽台開村式
12月15日 開基100年記念タイムカプセル収納式
- 55 (1980) 年 2月16日 農民研修センター開設
5月1日 支笏湖自然科学館 (支笏湖ビジターセンター) 開設
27日 日本近距離航空 (現・エアニッポン) 千歳就航

- 昭和55 (1980) 年 7月10日 国鉄千歳線高架供用開始
 21日 蕨手刀、市有形文化財指定
 10月1日 千歳線電化供用開始、千歳空港駅開業・空港駅連絡歩道橋供用開始
 (現・南千歳駅)
 11月1日 アーケード落成 (ニューサンロード H18・11・30撤去)
- 56 (1981) 年 1月20日 千歳警察署新築移転 (東雲町5)
 2月22日 鉄東コミュニティセンター開設
 27日 樽前山小噴火
 3月16日 千歳空港・植物防疫法及び家畜伝染予防法空港指定
 20日 千歳空港・税関空港指定
 23日 千歳空港国際定期便初就航 (日本航空ホノルル線 (成田経由) 定期便就航 (S62・12・30運休)) 記念祝賀会開催・記念訪米団出発
 4月 千歳いずみ学園新園舎完成
 1日 千歳市第3期総合開発計画スタート
 千歳市環境保全公社設立 (7・17財団法人)
 北斗保育園開設
 5月24日 市議会議員選挙
 7月5日 第1回千歳日航ポピュラーマラソン (現・千歳JAL国際マラソン) 大会開催
 8月3～6日 “前線と台風12号による北海道の大雨” 雨量327mm・被害額3,190,710千円
 22～24日 “台風15号と前線による大雨” 農業壊滅的打撃・被害額1,101,550千円
 31日 済州道観光協会と姉妹提携調印 (千歳観光連盟)
 10月1日 国鉄石勝線開業 (千歳空港―新得間)
 30日 千歳駅前広場完成
- 57 (1982) 年 2月11日 「三笠宮寛仁親王殿下と輪になって語ろう障害者とボランティアの集い」開催
 3月12日 千歳青少年教育財団設立 (H24・4・1公益財団法人)
 4月 向陽台小学校開校
 14日 千歳市農協野菜集出荷施設完成
 23日 千歳市・長沼町境界確認調印式
 26日 泉沢養魚場開設
 5月19日 クリーンジャパンセンターが千歳市を「社会システム実験モデル都市」に指定 (千歳市環境保全公社)
 7月20日 千歳市文化団体連絡協議会設立
 10月2日 臨空工業団地操業第1号・明昌特殊産業千歳工場完成
 11月29日 リサイクルセンター運転開始
 12月10日 再開発ビル (ちとせデパート入居/現・千歳タウンプラザ) オープン/中心街コミュニティセンター開設
 11日 千歳梅ヶ丘郵便局開局
- 58 (1983) 年 2月5日 高齢者事業団事務所完成
 7日 人口7万人突破
 3月20日 『増補千歳市史』刊行
 4月1日 総合福祉センター開設 (千歳コミュニティセンター含む)
 13日 航空自衛隊千歳基地F-15J型戦闘機配備 (第2航空団)
 15日 千歳飛行場周辺移転先地公共施設整備事業・北斗5丁目宅地分譲開始
 24日 市長選挙 (3代市長 東峰 元次再選)
 7月15日 一村一品製品化第1号「ハスカップの詩」発表
 8月10日 支笏湖畔下水終末処理場 (支笏浄湖苑) 運転開始
 19日 全国基地関係協議会正副会長会議開催
 9月8日 常陸宮妃殿下総合福祉センター御視察
 11月21日 東部支所東丘移設 (由仁町三川→農民研修センター)
 12月20日 航空3社機内放送「札幌千歳空港」から「千歳空港」に統一 (旧空港時代)
 22日 紫明女子学院歌志内から移転開院
 千歳少年院廃止 (S51～58院生収容なし)
- 59 (1984) 年 4月 北斗中学校開校

昭和59 (1984) 年	4月	向陽台保育園開設
	1日	市民文化センター開設 (S58・12・1竣工)
	14日	支笏湖畔有料道路無料化
	5月27日	支笏湖公園線自転車道全線開通
	7月18日	千歳市シルバー人材センター設立 (H24・4・1公益財団法人)
	10月1・2日	全国都市行政研究会総会開催
	5日	国道276号美笛峠新ルート開通
	15日	千歳自由ヶ丘郵便局開局
	24日	電話局番2桁移行
	11月6日	消防署向陽台出張所開所
	27日	市内から映画館なくなる
60 (1985) 年	3月28日	ナイベツ川湧水「名水百選」に選定
	5月26日	市議会議員選挙
	8月1日	小規模授産施設ちとせ開設
	20日	第16回全国中学校卓球大会開催
	10月1日	環境センター廃棄物破砕処理施設始動
		道東自動車道千歳一夕張間整備計画路線昇格
	31日	エキノコックス汚染地域指定
	11月25日	千歳白樺郵便局開局
	12月22日	ひびけ市民の“第9”発表会
	12月25日	北海少年院移転完了
61 (1986) 年	1月14日	千歳市公園緑化協会設立 (3・28財団法人)
	2月1日	グリーンベルト地下駐車場開業
	24日	千歳鉱山休山式
	3月15日	第1回千歳21世紀フォーラム「都市と空港」開催
	24日	札幌支笏湖国際観光モデル地区指定 (旧・運輸省)
	4月1日	支笏湖市民センターオープン
		市の木・花・鳥を新規制定
	20日	湖畔が「支笏湖温泉」に字名変更
	6月1日	直通バス運行 (千歳空港―美笛経由―洞爺湖温泉) (北海道中央バス・道南バス、1日1往復)
	7月1日	夜間救急医療業務委託一本化 (千歳医師会)
	15日	札幌国際エアカーゴターミナル設立
	27日	青空公園内アスファルト舗装スケートリンク竣工
	8月10日	千歳飛行場・鉄道千歳線60周年記念事業「昔を偲ぶ集い」開催
	10月1日	泉沢地区第2期開発事業起工式
	22日	千歳飛行場開基60周年・鉄道千歳線開通60周年記念事業式典
62 (1987) 年	2月2日	住民基本台帳オンライン業務開始
	3月	職安千歳出張所 札幌東公共職業安定所管轄となる
	31日	道央テクノポリス推進地域協議会設立総会 (於苫小牧市) 航空自衛隊北部航空警戒管制団第8移動警戒隊創隊
	4月	向陽台中学校開校
	1日	泉沢向陽台コミュニティセンター開設
	26日	市長選挙 (4代市長 梅沢 健三当選) 市議会議員補欠選挙
	5月12日	青葉公園に市民球場オープン
	7月1日	航空自衛隊千歳基地 ジェット燃料タンク落雷爆発炎上 (第2航空団)
	8月26日	“62年8月大雨災害” 雨量254mm・被害額298,340千円
	9月13日	皇太子殿下・同妃殿下、第11回全国育樹祭御出席 (支笏湖・モラップ)
	11月1日	祝梅コミュニティセンター開設
	14日	千歳川放水路事業促進連合協議会設立 (於札幌市)
	18日	「サーモン橋」開通
	12月15日	グリーンベルト地下駐車場第2期オープン
	この年	千歳空港年間乗降客数旅客数1000万人突破
63 (1988) 年	2月1日	市立図書館新築移転

- 昭和163 (1988) 年 2月5日 公共空地整備事業竣工
 3月28日 暴力追放・防犯都市宣言
 4月 日本航空学園千歳校開校
 6月20日 新千歳空港管制塔運用開始 (千歳管制隊)
 7月10日 新千歳空港オープニングフェスティバル開催
 17日 おさつ駅前土地区画整理組合設立
 20日 新千歳空港開港 (A滑走路供用開始)
 国際エアカーゴ初便就航
 23日 青葉公園中央広場開園
 8月6・7日 第1回清流千歳川噴水フェスティバル開催
 31日 コングスベルグ友好親善都市声明文に署名 (コングスベルグ)
 12月15日 長都へき地保育所落成
 17日 東千歳地区水道事業通水式 (H元事業完了)
 平成元 (1989) 年 2月14日 道央テクノポリス開発計画承認 (全国26番目)
 3月1日 戸長役場開庁110年記念式
 5月1日 たんぼぼ夜間保育園開園
 13日 おさつ駅前土地区画整理事業起工式
 21日 市議会議員選挙
 6月2日 コリアンエアー ソウル線定期便就航
 6日 北海道横断自動車道千歳一夕張間杭打ち式
 28日 北海道さけますふ化場千歳支場新庁舎落成
 7月8日 新千歳空港ターミナルビル新築工事起工式
 9月11日 第44回国民体育大会石狩支庁管内大会旗・炬火リレー採火式 (支笏湖畔)
 18~21日 第44回国民体育大会野球競技会
 10月 青空公園「ふれあいセンター」完成
 21日 名水ふれあい公園開園
 28日 「開基」110年記念式典挙行
 30日 千歳・アンカレジ市姉妹都市提携20周年記念式
 11月4日 J R長都駅西口構外待合室寄付採納 J R長都駅前広場待合室竣工
 12月1日 消防署西出張所開所
 13日 東千歳地区水道事業竣工
 2 (1990) 年 2月2日 廃棄物焼却処理施設完成
 26日 東千歳へき地保育所改築落成
 28日 蘭越生活館改築竣工
 3月31日 航空自衛隊第3高射群改編・ナイキシステムからペトリオットシステムへ
 換装完了
 航空自衛隊第3移動通信隊新設 (千歳基地)
 7月2日 コンチネンタル航空 (現・ユナイテッド航空) グアム・サイパン線
 定期便就航 (H30・1・15運休)
 8月1日 支笏湖小学校環境庁長官賞受賞
 北海道地価監視区域指定
 3~5日 全国障害者問題研究会第24回全国大会
 8日 「おはよう橋」開通 (ふるさと創生事業)
 11日 第1回北海道ビールまつり・イン・ちとせ開催
 14日 国際航空貨物取扱施設竣工
 9月9日 道央恵庭地区圃場整備事業完成記念式
 10月28日 キャセイ・パシフィック航空 香港線定期便就航 (H10・10・24運休
 →H13・12・2再開)
 11月28日 千歳美々ワールド設立 (H11・8・27解散決議・千歳市土地開発公社
 事業承継)
 30日 陸上自衛隊第7師団司令部庁舎竣工
 国営千歳地区直轄明渠排水事業竣工
 12月6日 航空自衛隊千歳基地200ビル (海軍航空隊司令部庁舎) 大規模改修
 3 (1991) 年 2月1日 千歳市農協・東千歳農協合併 新「千歳市農業協同組合」発足
 15日 消防署富丘出張所増改築庁舎落成

- 平成3 (1991) 年 3月4日 おさつタウンセンター落成
4月 支笏湖診療所新築移転
1日 千歳市第4期総合計画 (H3~12年度) スタート
20日 中央バス「高速ちとせ号」(千歳市内一札幌) 運行
21日 市長選挙 (5代市長 東川 孝当選)
市議会議員補欠選挙
5月8日 札幌入国管理局千歳・苫小牧出張所開設
日本道路公団札幌建設局千歳工事事務所新事務所庁舎落成
15日 日本航空 香港一名古屋一新千歳-ニューヨーク線貨物定期便就航
(エバーグリーン・インターナショナル機・H3・11 臨時化・H5・2 運休)
7月15日 グリーンベルト地下駐車場地下連絡通路開通式
20日 市民憲章ブロンズ像完成
8月1日 消防支笏湖温泉分遣所、出張所昇格
済州道姉妹提携10周年記念交流訪問団出発
9月7日 千歳霊園経営許可 (11・3分譲開始)
14日 市役所庁舎等土曜閉庁制実施 (毎月第2・第4土曜日)
22日 千歳航空少年団結団式
10月1日 泉沢向陽台証明事務取扱所開設 (消防署向陽台出張所内)
第5回ツール・ド・北海道第1ステージスタート
7日 新千歳空港輸入食品届出窓口開設
16日 日本ユニバーサル航空就航 (国内貨物専用・H4・9 休止)
22日 航空自衛隊F-15J型戦闘機標的曳航ワイヤー切断ミス事故 民家・工場・架線等被害 (第2航空団)
28日 青葉公園冒険の森開設
30日 人口8万人突破
11月3日 千歳霊園永代貸付開始
25日 千歳長都駅前郵便局開設
12月10日 北桜コミュニティセンター開設
11日 向陽台警察官派出所開設
4 (1992) 年 2月1日 新千歳空港簡易ガス事業火入れ式・供給開始
千歳川取水施設取水開始
3日 日本航空 ホノルル線定期便就航再開 (JAZ/H15・9・30運休)
3月1日 暢寿園デイサービスセンター開設
17日 道央自動車道、186台多重衝突事故発生 (長都川橋付近)
27日 陸上自衛隊第1地対艦ミサイル連隊創設
5月11~15日 国際連合アジア・太平洋経済協力千歳会議 (国連フォーラム)
7月1日 新千歳空港ターミナルビル供用開始・新千歳空港駅開業・新千歳空港
内郵便局開局
ハートピアショップ「るびなす」(新千歳空港ビル内) 開店
(H16・3・31閉店)
17日 消防創設70周年記念式典
8月5・6日 第34回自然公園大会開催 (支笏湖・モラップ)
6~8日 全国水環境保全各市町村連絡協議会 (名水シンポジウム)
9月13日 全日本「第9を歌う会」千歳演奏会
21日 泉郷開拓100年記念式典
30日 道央自動車・札幌自動車道連結 (札幌JCT)
千歳市防災訓練 (青葉運動場)
10月27日 カンタス・オーストラリア航空 ケアンズ線定期便就航 (H10・3・31
運休)
11月3日 第1回千歳市民文化賞・文化奨励賞贈呈式
5 (1993) 年 3月 中央小学校閉校式
1日 新千歳空港24時間運用第1回テストフライト (3・1・9・21)
10日 ㈱千歳市体育協会設立 (H25・4・1 公益財団法人)
4月1日 情報公開制度スタート

平成5 (1993) 年	4月17日	北海道エアロポリス・プロジェクト・プレゼンテーション開催
	5月23日	オール北海道オープンアーチェリー大会開催
	30日	市議会議員選挙
	6月1日	開基記念総合武道館開館 航空自衛隊特別航空輸送隊編成完結(千歳基地)
	7月20日	新千歳空港24時間運用第2回テストフライト(7・20、27、8・3)
	22日	東千歳調理場閉所式
	8月8日	第26回全日本少林寺流空手道全国選手権大会
	17日	千歳・苫小牧地方拠点都市地域指定
	22日	第27回全日本医科学生体育大会準硬式野球大会開催
	25日	おさつ駅前土地区画整理事業竣工記念式典
9月20日	北海第1号ブロンズ除幕式(空港広場)	
10月12日	第26回全国昭和市長会開催	
26日	麻薬・覚醒剤撲滅運動北海道大会開催	
11月1日	支笏湖ヒメマス移植100年・養殖ヒメマス出荷10周年記念事業開催	
6 (1994) 年	2月9日	総合武道館・北海道赤レンガ建築賞受賞
	14日	美々プロジェクト起工式
	3月29日	北海道エアフロント開発創立総会(H11・4・1解散)
	4月	北陽小学校開校
	2日	市立総合病院泉郷診療所新築移転
	8日	消防緊急通信指令施設運用開始
	15日	鹿兒島県指宿市と姉妹都市提携盟約調印
	19日	市営牧場新築移転(駒里)
	5月22日	市議会議員補欠選挙
	6月	防衛庁技術研究本部東千歳地区空力維持研究施設開所
	23日	新千歳空港24時間運用開始(国内初)
	30日	新千歳空港深夜早朝便初就航
	7月9日	全道信用組合野球大会開催
	25~29日	国際民間航空機関航空運送政策セミナー開催
	8月20日	第24回全国中学校選抜剣道大会開催
	9月7日	流通業務団地造成起工式
	10日	千歳サケのふるさと館開館
	12月5日	北海道さけますふ化場千歳支場「さけの里ふれあい広場」開設
	17日	J R長都駅跨線橋(自由通路-おさつスカイロード)供用
	18日	第21回全道自衛隊剣道大会開催
7 (1995) 年	1月18日	北海道総合在宅ケア事業団千歳訪問看護ステーション開所
	2月1日	千歳福祉サービス公社設立(H25・3・31解散、社協に統合)
	3月17日	千歳ワールド・マーケット・プレイスNEWS開業(H10・3・31閉鎖)
	31日	マルチメディア情報センター開設(H15・9・30閉鎖)
	4月	北海道千歳リハビリテーション学院(現・北海道千歳リハビリテーション大学)開校
	15日	市民ギャラリー落成
	23日	市長選挙(5代市長 東川 孝再選) 市議会議員補欠選挙
	5月25日	ガスパイプライン千歳市内ルート合意
	6月27日	航空自衛隊千歳管制隊新ラブリコン落成
	7月1日	第18回全日本学生軟式野球選手権大会
	4日	ホトニクスバレー講演・説明会
	8月23日	千歳命名190年シンポジウム「江戸時代にみる千歳の風景」
	9月1日	東京事務所開設(千代田区平河町)(H17・3閉所)
10月1日	個人情報保護制度スタート	
2日	向陽台支所開設	
	新周堤墓発見(中央キウス4遺跡)	
14日	ヒメマスフォーラム開催	
17日	人口8万5千人突破	

平成7 (1995) 年	10月21日	第36回全日本初中生雄雌鑑別選手権大会
	12月	インディアン水車サケ捕獲過去最多 (55万尾/年)
	18日	千歳警察署住吉交番開所
8 (1996) 年	2月29日	北海道砂利採取連絡協議会設立
	3月19日	ガスパイプライン (勇払一札幌) 竣工
	26日	勸千歳科学技術大学設立準備財団許可
	29日	陸上自衛隊北千歳駐屯地129特科大隊新編完結
	4月1日	ひので児童館開設
	26日	新千歳空港B滑走路供用
	5月29日	千歳・苫小牧・恵庭一災害時広域「相互応援協定」締結
	6月4日	皇太子同妃殿下、千歳サケのふるさと館御視察
	7月	青葉陸上競技場改修完成 (全天候型青色ウレタン走路一全国2番・道内初)
	4日	千歳・新千歳空港乗降客数2億4千万人突破
	18日	千歳オフィス・アルカディア起工式
	8月17日	第24回北海道青年祭開催
	9月20日	スカイフェスタ ニューチトセ 96 (空の日)
	21日	千歳飛行場を造った村民顕彰の碑除幕式
	10月16日	石油資源開発㈱基礎試錐「馬追」開坑式 (泉郷)
	22日	千歳線開通・千歳空港開港70年記念式典、市民フォーラム
	11月1日	市の魚を制定 (ヒメマス・サケ)
	5日	インディアン水車設置100年記念特別講演開催
	15日	国際農業シンポジウム開催
	12月2日	千歳科学技術大学建設工事起工式
9 (1997) 年	2月4~7日	E S C A P (国際連合アジア太平洋経済社会委員会) 調整グループ会合開催
	4月	泉沢小学校開校
	1日	北コミュニティセンター開設
		消防署祝梅出張所開設
		在宅福祉総合センター「ほっとす」開設
	5月25日	市議会議員選挙
	6月1日	市営ガス事業譲渡 (北海道ガス・5・20認可)
		市民文化センター証明事務取扱所開設 (H16・3・31閉鎖)
	8月9・10日	第1回北海道スカイ&ピアフェスタちとせ開催 (ビールまつり+空港まつり)
	25日	千歳市防災総合訓練 (臨空工業団地内)
	10月1日	市指定ごみ袋導入
	29日	KLMオランダ航空 アムステルダム線定期便就航 (H14・2・1連休)
	11月22日	「山線鉄橋」(旧王子軽便鉄道千歳川鉄橋) 解体修復完了・開通式
	12月2・3日	支笏湖・東部支所開設50周年を祝う会
10 (1998) 年	3月27日	通信・放送機構「千歳ホットニクスリサーチセンター」開設
	28日	北海道エアシステム (HAC) 就航 (H23・6・11撤退)
	30日	新葬斎場完成
	4月1日	しなの児童館開設
	11日	千歳科学技術大学第1回入学式
	5月11日	ジェイ・エア 就航
	6月8日	千歳郵便局新築移転 (千歳駅前)
	28日	チャイナ・ノーザン航空 (現・チャイナ・サザン航空) 瀋陽線定期便就航 (H24・9・1連休)
	7月20日	温水プール落成
	30日	ピア・ワークスちとせ落成
	8月11日	千歳市支笏湖ヒメマスふ化場開設 (水産庁より譲渡)
	10月5日	千歳ヤマセミ郵便局開局
	12~15日	第4回先端有機ホットニクス物資と応用に関する国際会議 (I C O N O ' 4) 開催

- 平成10 (1998) 年 10月19日 自衛隊札幌地方連絡部千歳募集事務所新築事務所開き
22日 商店街振興組合連合会創立20周年記念式典
12月1日 ベDESTリアンデッキ (南千歳駅南口) 開通
14日 千歳駅エレベーター・エスカレーター完成
20日 北海道国際航空 (現・AIRDO) 就航
- 11 (1999) 年 2月28日 ちとせデパート営業終了 (自己破産)
3月1日 戸長役場開庁120年記念式 (市民ホール)
25日 道央圏連絡道路新千歳空港一日の出ランプ間供用
26日 千歳市地域振興券利用開始 (～9・30)
4月1日 中央コミュニティセンター開設
アリス保育園開園 (併設・地域子育て支援センター)
16日 千歳信用組合経営不振・事業譲渡決定 (専和信用組合)
24日 スカイマーク・エアライズ (現・スカイマーク) 就航 (H12・6・30
運休→H18・4・28再開)
25日 市長選挙 (無投票/5代市長 東川 孝再選)
5月6日 千歳いずみ学園祝梅分場開設
7月10日 支笏洞爺国立公園指定50周年記念フォーラム
17・18日 YOSAKOIソーランちとせトーナメント祭
30日 千歳川放水路計画中止決定
千歳オフィス・アルカディア竣工式
8月2日 向陽台在宅介護支援センター開所
4日 最高気温33.1度記録 (新千歳航空測候所観測史上2位・鉄道一時運行
休止)
24日 山線鉄橋、市有形文化財指定
10月1日 千歳命名195年・開庁120年記念式典
千歳・アンカレジ姉妹都市提携30周年記念式典
7日 道東自動車道千歳恵庭JCT一タ張IC間開通
12・13日 千歳光科学国際フォーラム
11月6日 道立千歳高等学校創立50周年・新校舎落成記念式典
15日 札幌東公共職業安定所千歳出張所移転
29日 千歳東郊郵便局開局
12月13日 北央信用組合営業開始 (旧・専和信用組合)
- 12 (2000) 年 4月1日 祝梅在宅福祉センター「祝梅ほっとす」開設
千歳市福祉共同作業所「ほほえみ」開所
ほくおう児童館開館
26日 支笏湖美化センター開館
5月8日 人口8万8千8百人突破
7月28日 東日本電信電話(株)千歳営業所廃止
9月5～8日 光メモリ国際シンポジウム (ISOM) 開催
15・16日 全国生涯学習まちづくりフォーラム開催
28日 中央バス「支笏湖バスターミナル」営業終了
10月2日 気象庁ドップラーレーダー完成 (新千歳空港)
24日 デジタルシティ千歳会議開催
31日 ゆうまいタウンプラザ竣工 (11・1イトーヨーカドー千歳店開店)
12月31日 ちとせ21世紀カウントダウンフェスティバル開催
- 13 (2001) 年 2月12日 支笏湖結氷 (湖水開き一週間延期)
4月1日 千歳市新長期総合計画 (H13～22年度) スタート
道央農業協同組合発足 (千歳・恵庭・江別・野幌農協合併)
千歳オフィス・アルカディア「千歳アルカディア・プラザ」開業
ごみ収集業務民間委託祝祭日収集開始
2日 水道局新庁舎開庁 (東雲町3丁目)
消防署支笏湖温泉出張所新築移転
5月20日 市議会議員選挙
6月5日 苔の洞門岩盤崩落全面閉鎖
7月22日 サハリン航空 (現・オーロラ航空) ユジノサハリンスク線定期便就航

- 平成13 (2001) 年 8月1日 チャイナ・ノースウエスト航空 (現・チャイナ・イースタン航空)
上海線定期便就航
- 9月7日 第2回千歳光科学国際フォーラム開催
- 12~14日 第25回赤十字北海道大会開催
- 10月1日 しゅくばい児童館開館
- 26日 千歳空港開港75周年・民間航空再開50周年記念式典
- 14 (2002) 年 2月20日 千歳市ISO14001認証取得 (～H18・2)
- 3月 道央圏連絡道路国道36号一日の出ランプ間供用
- 2日 千歳医師会看護高等専修学校閉校
- 16日 千歳科学技術大学第1回卒業式
- 25日 市立市民病院本体施設竣工
- 27日 陸上自衛隊第7化学防護隊創隊
- 4月1日 千歳科学技術大学大学院 (修士課程) 開設
- 千歳市ファミリー・サポート・センター開設 (8・1サービス開始)
- 3日 せいりゅう児童館開館
- 5月29日 都市ガスー天然ガス化完了 (北海道ガス)
- 7月9~11日 I T U - T (国際電気通信連合) 国際会議
- 9月1日 市立千歳市民病院開院
- 2日 循環型コミュニティバス (通称ビーバス) 運行開始
- 26日 人口9万人突破
- 10月22日 北海第1号操縦士、酒井憲次郎飛行士のブロンズ像除幕式
- 12月10日 千歳子どもデイケアルーム開設 (市民病院敷地内)
- 15 (2003) 年 1月24日 第1回千歳川光と水のオブジェ開催 (～2・3)
- 3月25日 道央圏連絡道路日の出ー寿ランプ間供用
- 30日 エバー航空 台北線定期便就航
- 4月1日 下水道汚泥処理施設「スラッジセンター」供用
- 27日 市長選挙 (6代市長 山口 幸太郎当選)
- 市議会議員補欠選挙
- 8月1日 おさつジャンボバス運航開始
- 31日 日本航空機製造YS-11型機民航ラストフライト (エアーニッポン女満別線)
- 9月1日 障害者総合支援センター開設
- 12月5日 深夜貨物定期便就航 (全日空千歳ー羽田)
- 16 (2004) 年 4月1日 千歳駅前大型商業施設「ペウレ千歳」開業 (千歳駅バスターミナル機能
供用開始・千歳駅市民サービスセンター開設 (H31・4・30閉鎖))
- いずみさわ児童館開館
- 市庁舎全面禁煙
- 5月1日 特別養護老人ホーム「やまとの里」開設
- 6月21日 JTC1 SC25千歳会議開催 (情報技術機器の相互接続の標準化)
- 10月11日 長春市友好親善都市合意調印
- 17 (2005) 年 1月30日 千歳命名200年記念事業 千歳市民劇「シコト越え」開催
- 3月12日 千歳タウンプラザ (旧・エスプラザ) 開業
- 15日 支笏湖青少年研修センター閉所
- 20日 長都小・中学校閉校
- 4月1日 水防センター開設
- つくし保育園開設
- 千歳アウトレットモール・レラ開業
- 5月29日 市議会議員選挙
- 30日 住民参加型ミニ市場公募債「千歳命名200年記念債」発行
- 31日 千歳市駒里農業協同組合設立認可
- 6月2日 道央農業振興公社設立
- 25日 道の駅「サーモンパーク千歳」オープン
- 7月6日 北海道競馬場外発売所「Aiba千歳」開所
- 9月6日 航空自衛隊第2航空団所属F-15J型戦闘機空中接触 (積丹上空)
- 10月 社会福祉協議会事務所新築移転 (旧・市立総合病院看護婦宿舍位置)
- 1日 エアトランセ 就航 (H19・3・31撤退)

- 平成17 (2005) 年 11月9日 山三ふじや創業100年記念祝賀会開催
- 18 (2006) 年 2月20日 千歳市環境マネジメントシステムISO14001自己適合宣言
- 4月1日 地域支援包括センター新設(新富ほっとす内) 市内に4ブランチ設置
職安千歳出張所、千歳公共職業安定所に昇格
支笏湖動力船規制要綱発表
- 7日 市民文化センターリニューアルオープン
- 5月1日 家庭ごみの有料化実施
- 6月1日 コリアンエア― 釜山線定期便就航
- 7月1日 チャイナエアライン 台北線定期便就航
- 15~17日 第1回スカイ・ピア&YOSAKOI祭(スカイ&ピアフェスタ+YOSAKOI
ソーランちとせトーナメント祭)
- 8月1日 市民活動交流センター「ミナクル」開設
- 10月23日 千歳空港開港80年記念(献花式)
- この年 新千歳-羽田間航空路線年間乗降客数1千万人突破(年間1,014万2,091人)
- 19 (2007) 年 4月1日 市社会教育施設 指定管理者に運営移管始まる
- 4日 ギャラクシーエアラインズ(貨物専用)就航(H20・10・6事業廃止)
- 18日 エアチャイナ 北京線定期便就航
- 20日 千歳アウトレットモール・レラ2期拡張オープン
- 22日 市長選挙(無投票/6代市長 山口 幸太郎再選)
- 5月2日 チャイナ・サザン航空 大連線定期便就航
- 6月26日 天皇皇后両陛下、千歳サケのふるさと館御視察
- 7月2日 市役所、旅券窓口開設
- 11月 支笏湖漁業組合設立
- 20 (2008) 年 2月23・24日 長都地区暴風雪害 第7師団災害派遣・車両約50台救出等
- 25~28日 在日米軍再編に伴う訓練移転初回実施(米海兵隊岩国FA-18×4)
- 4月1日 子育て総合支援センター「ちとせっこセンター」開設(ちとせっこ児童館
等併設)
- 24日 千歳保育所が民営化され千歳春日保育園になる
空港公園オープン(柏台南)
- 7月1~10日 ジュニア・エイトサミット2008千歳支笏湖開催
- 13日 市制施行50周年記念メインイベント(「第九」合唱演奏会)開催
- 9月7日 市制施行50周年記念式典
- 11月1・2日 世界ラリー選手権(WRC)第14戦ラリージャパン開催
- 21 (2009) 年 2月28日 イトーヨーカドー千歳店(ゆうまいタウンプラザ)閉店
- 3月2日 戸長役場開庁130年記念式
- 30日 千歳市開拓農業協同組合解散
- 4月24日 スーパーアークス長都店(ちとせモール(旧・ゆうまいタウンプラザ))
開店
- 5月31日 市議会議員選挙
- 7月27日 千歳・アンカレジ姉妹都市提携40周年記念式
- 8月1・2日 支笏洞爺国立公園指定60周年記念事業開催
- 24~28日 世界一周機「ニッポン」千歳出発70周年記念パネル展開催
- 9月11日 支笏湖自然保護官事務所改築開所式
- 15日 千歳命名205年・開庁130年記念事業「千歳の歴史写真展」開催
- 22 (2010) 年 3月19日 『新千歳市史 通史編 上巻』刊行
- 26日 新千歳空港国際線旅客ターミナルビル供用開始
- 4月1日 ほくよう児童館開館
埋蔵文化財センター 長都移転(展示室等開設/旧・長都小中学校)
フジドリームエアラインズ就航
- 24日 防災学習交流センター「そなえーる」開設
- 5月22・23日 第12回日中韓三カ国環境大臣会合開催
- 7月1日 エア・ニッポン就航(丘珠から移転)
- 12月18日 道央圏連絡道路 寿-中央ランプ間供用
- 28日 サハリン航空(現・オーロラ航空) ハバロフスク線定期便就航(H
23・3・27運休)

- 平成23 (2011) 年 2月29日 日本航空ジャンボ・ボーイング747-400D型機ラストフライト (退役ツアー)
- 3月12日 3・11東日本大震災 千歳市災害対策本部設置
- 4月 全国瞬時警報システム-ジェイ・アラート運用開始
- 1日 第6期総合計画 (H23~32年度) スタート
ちとせ環境と緑の財団発足 (環境保全公社+緑化協会/H25・4・1公益財団法人)
- 24日 市長選挙 (無投票/6代市長 山口 幸太郎再選)
市議会議員補欠選挙
- 5月5日 イースター航空 (LCC=格安航空) ソウル線定期便就航
- 6月1日 ホテル日航千歳売却 ホテルグランテラス千歳となる
- 7月1日 防災学習交流施設「防災の森」オープン
千歳市内ハイヤー・タクシー全面禁煙 (全国最後)
- 15日 ジンエアー (LCC) ソウル線定期便就航
新千歳空港国内線旅客ターミナル商業施設リニューアルオープン
- 8月11日 観測史上最高気温34.2度記録 (新千歳航空測候所)
- 31日 人口全道10位達成94,390人 (室蘭市94,104人抜く)
- 9月9日 天皇陛下 千歳市役所行幸
- 24 (2012) 年 2月19日 第1回ちとせ・まち魅力検定実施 (『要覧ちとせ』から出題)
- 3月1日 ピーチ・アビエーション (LCC) 就航
- 23日 真町中学校閉校式
- 4月 勇舞中学校開校
- 1日 真々地保育所が民営化、あずさつくし保育園として移転開園
- 7月3日 ジェットスター・ジャパン (LCC・日本航空系) 就航
- 10日 千歳警察署支笏湖駐在所改築開所式
- 8月1日 エアアジア・ジャパン (LCC・ANA系/WA J) 就航 (H25・10・26 ANA提携解消・運航終了→パニラ・エアへ社名変更)
- 9月4日 トランスアジア航空 (H28・11・22解散決議) 台北線定期便就航 (同日運休)
- 10月28日 ANA ボーイング787型機就航 (ANA・日航 H25・1・16~5・25 運航停止)
- 31日 タイエア バンコク線定期便就航
ハワイアン航空 ホノルル線定期便就航
- 11月1日 花園コミュニティセンター 開設
- 3日 航空自衛隊千歳チーム 第38回社会人野球日本選手権初出場 (京セラドーム大阪)
- 12月9日 新千歳空港国際線年間出入国者数100万人突破 (年間107万9,400人)
- 11日 キウス周堤墓群「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」世界文化遺産候補構成資産に追加 (縄文遺跡群世界遺産登録推進本部)
- 25 (2013) 年 1月 真冬日連続23日記録 (アメダス観測史上第1位) 月間真冬日28日
- 3月5日 支笏湖温泉第2泉源湧出 (ナトリウム-炭酸水素塩・塩化物温泉/動力揚水33.2度)
- 4月 北海道千歳高等支援学校開校
- 1日 社会福祉協議会 福祉サービス公社事業継承
- 30日 人口9万5千人突破 (95,094人)
- 5月11・12日 第1回グリーンベルトはるまつり開催 (グリーンベルト芝生公園・千歳川河畔公園)
- 26日 市議会議員選挙 (史上初無投票)
- 7月10日 広報「ちとせ」発刊1000号 (S26創刊)
- 20日 「千歳民報」創刊50周年 (S38創刊/苫小牧民報社)
- 8月3日 道央自動車道 新千歳空港インターチェンジ開業
- 10月1日 市消防本部ほか管内6消防本部-消防救急デジタル無線システム運用開始
- 12月23日 ティーウェイ航空 (LCC) ソウル線定期便就航
- 26 (2014) 年 1月28日 チャイナ・サザン航空 広州線定期便就航 (H26・3運休)
パニラ・エア (LCC・ANA系 (旧WA J) 現・ピーチ・アビエーション) 就航

- 平成26 (2014) 年 2月25・27日 越冬エゾシカ學術捕獲実施／銃器使用＋国道閉鎖－全国初
(国道453号(旧・支笏湖畔有料道路北側斜面)／酪農学園大ほか)
- 3月27日 北新子育て支援センター「げんきっこセンター」開館
希望が丘児童館開館
- 30日 A N A ジャンボ・ボーイング747-400D型機退役フライト (NH74)
- 31日 千歳市土地開発公社解散
- 4月1日 全国コンビニエンスストア市税等収納サービス開始
市営住宅窓口センター開設(指定管理－管理・入退去・収納業務等委託)
- 10日 しあわせサポートセンター開所(介護予防センター、更生保護サポートセンターほか入居)
- 13日 支笏湖温泉第2泉源配湯(第1泉源廃泉)
- 19日 「ダイナックスアリーナ(スポーツセンター)」リニューアルオープン
(ネーミングライツスポンサー＝ダイナックス(H26・3・28調印))
- 5月12日 千歳青年会議所創立50周年記念式典(S39・5・10設立)
- 6月～8月 支笏湖ヒメマス釣果最多記録(解禁期間)15万8,741尾
- 7月21日 姉妹都市提携20周年を記念して指宿市から天然記念物・池田湖うなぎ贈られる(「いぶりん」と命名し展示＝サケのふるさと千歳水族館)
- 28日 養護老人ホーム千寿園移転新築落成記念式典(8・1開所)(大和4丁目)
- 8月9日 航空自衛隊千歳管制隊無事故管制500万回達成(S37・1・1米空軍移管～)
- 9月11・12日 支笏湖地区集中豪雨(11日午前5時35分大雨特別警報発令／支笏湖地区住民に避難勧告、土石流により国道453号不通、美笛キャンプ場封鎖など)
- 市街－インディアン水車水没
- 10月1日 市民文化センター・ネーミングライツ「北ガス文化ホール」(ネーミングライツスポンサー＝北海道瓦斯(H26・9・25調印))
- 26日 スプリング航空(LCC)上海線定期便就航
- 11月20日 北海道国際航空(エア・ドゥ)国際チャーター便初運航(新千歳－台北)
- 12月19日 支笏湖ヒメマスふ化場改築落成(12・25開場式／旧施設解体H26・6・26)
- ホンコン航空 香港線定期便就航
- 27 (2015) 年 2月1日 チャイナエアライン 高雄線定期便就航
- 17日 千歳公民館、文部科学省第67回優良公民館表彰受賞
- 18日 新千歳空港深夜早朝発着枠30回を苦小牧市地域協議会基本合意
- 3月7日 夕張シューパロダム竣工式(夕張市ゆうばり文化スポーツセンター)
- 29日 ティエンジン航空 天津線定期便就航
- 4月1日 石狩東部広域水道企業団千歳川浄水場供用(3・31通水式、供給先4市1町1企業団)
市立末広・北栄保育所廃止、幼保連携型認定こども園新設(市立2園、私立5園)
北海道空港、新千歳空港ロジスティクスセンター分譲開始(H25・11・15造成着手)
ふるさと千歳ナンバープレート(デザイン＝擬人化飛行機)、原付自転車などに交付開始
- 26日 市長選挙(無投票／6代市長 山口 幸太郎再選)
市議会議員補欠選挙
- 5月1日 合葬墓「千縁塚」埋葬始まる(末広第一霊園)
- 2日 エアアジアX(LCC)バンコク線定期便就航(代替運航＝マレーシア・エアアジアX)
- 16日 薬用作物集出荷貯蔵施設竣工(日本初／J A道央)
- 7月1日 千歳プレミアム付商品券発売開始
- 25日 千歳サケのふるさと館がサケのふるさと千歳水族館としてリニューアルオープン
- 8月8日 道の駅サーモンパーク千歳リニューアルオープン
- 24日 東川 孝 前千歳市長死去市葬執行(8/18逝去)
- 9月29日 製造品出荷額全道第4位(苦小牧・室蘭・札幌・千歳)平成26年工業統計調査速報値

平成27 (2015) 年	10月1日	エアアジアX (LCC) クアラルンプール線定期便就航
	15日	新千歳空港深夜早朝時間帯発着枠拡大 (6便→30便・8/22地元合意)
	28日	航空自衛隊第3高射群 地对空誘導弾ペトリオット (PAC3) を配備
28 (2016) 年	2月6日	千歳市の自衛隊を支える中央大会開催 (東京都千代田区砂防会館106人出席)
	17日	平成27年国勢調査速報値 人口95,664人 (対前回比2.2%増) 人口増加数全道第2位、人口増加率市部全道1位
	23日	日本航空機・航空事故 (福岡行ボーイング737/左エンジン発煙→機内流入→緊急脱出・原因=着氷による不完全燃焼)
	4月6日	デマンドバス「心ふれあいバスおおぞら号」運行開始 (長都・中長都・釜加)
	5月1日	人口9万6千人突破 (96,230人)
	7月1日	アジアナ航空 ソウル線定期便就航
	20日	ベウレ千歳「千歳ステーションプラザ」に名称変更
	8月20日	チェジュ航空 (LCC) ソウル線定期便就航
	9月26日	スプリングジャパン (LCC) 成田線定期便就航
	10月1日	国産初小型ジェット旅客機MRJ初飛来
29 (2017) 年	7日	市内バス路線再編
	7日	スクート (LCC) シンガポール線定期便就航
	7日	千歳空港開港90周年記念 毛利 衛 宇宙飛行士特別講演会
	12月25日	エアブサン (LCC) 大邱線定期便就航
	2月1日	コンビニ交付サービス開始 (住民票、印鑑登録証明書など)
	3月26日	フジドリームエアラインズ 山形線定期便就航
	4月1日	中国東方航空 南京線定期便就航
	4月1日	海南航空 杭州線・長沙線就航 (H29・9・5運休)
	4月1日	第2住吉保育園開設
	4月1日	北海道千歳リハビリテーション大学開学
30 (2018) 年	5月28日	上海吉祥航空 上海線定期便就航
	8月8日	市議会議員選挙 (女性過去最多6名当選)
	8月8日	道の駅サーモンパーク千歳年間来場者数100万人突破 (1,016,309人)
	9月5日	千歳市休日夜間急病センター (ささえーる) 診療開始
	24日	ピーチ・アビエーション (LCC) 台北線定期便就航
	10月29日	エアアジア・ジャパン (LCC) 中部線定期便就航
	12月26日	支笏湖が2016年公共用水域水質測定結果で湖沼の部連続10年第1位
	この年	路線別旅客数で新千歳-羽田が国際197路線で最多の905万1,293人
	3月25日	アイベックスエアラインズ松山線定期便就航
	4月1日	ちとせスマイル保育園開設
31 (2019) 年	4月1日	認定こども園おひさま開設
	11日	エアアジアX (LCC) バンコク線定期便就航
	18日	「千歳市人口ビジョン・総合戦略～みんなで97,000プロジェクト～」 (平成28年3月策定)における目標人口9万7千人達成 (97,012人)
	5月8日	イースター航空 (LCC) 釜山線就航
	7月2日	市制施行60周年記念式
	9月6日	北海道胆振東部地震発生 (午前3時7分頃) (安平町で震度6強)
	10月29日	イースター航空 (LCC) 清州線定期便就航 (R元・9・5運休)
	11月26日	エアソウル (LCC) 仁川線就航
	12月	支笏湖が2017年公共用水域水質測定結果で湖沼の部連続11年第1位
	7日	フィリピン航空 マニラ線定期便就航
21日	ウラル航空 ウラジオストク線定期便就航	
2月12日	市役所第2庁舎開庁	

平成31 (2019) 年	3月1日	千歳命名215年・戸長役場開庁140年記念式
	23日	マリンド・エア クアラルンプール線就航
	28日	『新千歳市史 通史編 下巻』刊行
	29日	札幌市との連携中枢都市圏形成に係る連携協約締結
4月		公立千歳科学技術大学開学
	1日	あんじゅ認定こども園開園
	21日	市長選挙(無投票/6代市長 山口 幸太郎再選)
	23日	新千歳空港年度別乗降客数過去最高2,363万2,641人(対前年比2.3%増) =国内線1,977万6,630人(0.9%増)+国際線385万6,011人(10.4%増)
令和元 (2019) 年	8月30日	千歳市と恵庭市の連携施策の充実拡大に関する覚書の締結
	9月4日	千歳・アンカレジ市姉妹都市提携50周年記念式
	11月1日	深圳航空 無錫線定期便就航
	29日	山東航空 青島線定期便就航
	12月16日	フィンランド航空 ヘルシンキ線定期便就航 カンタス航空 シドニー線定期便就航
2 (2020) 年	1月14日	厦門航空 福州線定期便就航
	15日	北海道エアポートによる新千歳空港ターミナルビル経営開始
	17日	四川航空 成都線定期便就航
	21日	新千歳空港年別乗降客数過去最高2,459万4,904人(対前年比5.5%増) =国内線2,073万2,744人(5.9%増)+国際線386万2,160人(3.7%増)
	4月1日	あさ陽認定こども園開園

1 平成9年から千歳市は「開基」を「千歳命名〇〇年・開庁〇〇年」に改称したが、過去に実施した事業名までは変更していない

2 新型コロナウイルス感染拡大の影響で、令和2年3月以降、新千歳空港の国際線定期便は運航していない。(空港政策課)

総務課

2 事業年表

(1) 泉沢開発事業

昭和45	(1970)	年 9月	泉沢地域634haを11億7千万円で江別市から買収
47	(1972)	年12月	千歳市土地開発公社設立
49	(1974)	年 6月	市議会議員協議会に基本構想の検討を報告
51	(1976)	年 2月	市議会議員協議会に基本計画書を提出
		3月	市議会「中核的工業団地造成に関する要望意見書」議決
52	(1977)	年 7月	市議会「泉沢土地利用問題特別委員会」設置
		9月	泉沢開発プロジェクトチーム「千歳市の将来と泉沢」発刊
53	(1978)	年 6月	泉沢地区市街化区域編入
			住宅金融公庫宅地造成資金融資に係る計画承認
		7月	工事中の防災措置に関する計画承認
		8月	住宅地名を「泉沢向陽台」に決定
			開発行為許可（都市計画法第29条）
			泉沢開発着工式挙行
53	(1978)	年10月	住宅地造成工事発注 一般分譲地予約受付開始
54	(1979)	年 3月	市議会「泉沢地域開発等特別委員会」設置
		10月	千歳臨空工業団地造成開始
		11月	開村式挙行
56	(1981)	年 4月	千歳臨空工業団地販売開始
57	(1982)	年 4月	向陽台小学校開校
59	(1984)	年 4月	向陽台保育園開園
		7月	北海道電力臨空工業団地内変電所供給開始（6万6千KVA）
		8月	泉沢地区（2期住宅地）市街化区域編入
		10月	千歳市消防署向陽台出張所完成
		11月	全天候型テニスコート（3面）完成
60	(1985)	年 3月	泉沢向陽台コミュニティ協議会発足
		7月	向陽台水泳プール完成
		9月	日本航空大学校千歳校誘致決定
		11月	千歳市白樺郵便局開局
61	(1986)	年 3月	泉沢開発記念誌〈大いなる挑戦〉完成
		4月	第2期計画に伴う環境影響評価書提出
		5月	第2期計画に伴う防災協議成立
			泉沢地区（2期工業地）市街化区域編入
			第2期計画に伴う実施設計完成
		7月	第2期計画に伴う住宅金融公庫宅地造成資金融資に係る計画承認
		8月	第2期計画に伴う環境影響評価書確定告示
			第2期計画に伴う開発行為許可（都市計画法第29条）
		10月	第2期開発着工式挙行
		12月	第2期都市計画用途地域の変更告示
62	(1987)	年 4月	泉沢向陽台コミュニティセンター完成
			向陽台中学校開校
63	(1988)	年 4月	日本航空学園千歳校開校
		5月	第2期泉沢向陽台住宅地分譲開始
平成2	(1990)	年 1月	業務施設用地の名称「千歳サイエンスパーク」と決定、分譲開始
3	(1991)	年 4月	向陽台つくし幼稚園開園
		12月	向陽台警察官派出所開設
5	(1993)	年 5月	臨空工業団地に全天候テニスコート（4面）完成
6	(1994)	年 4月	向陽台公園完成
		10月	住宅地文京地区造成開始
7	(1995)	年 4月	北海道千歳リハビリテーション学院（現・北海道千歳リハビリテーション大学）開校
		9月	住宅地文京地区分譲開始
		10月	泉沢自然の森竣工・向陽橋竣工・渡橋式挙行・ハヤブサ公園完成・向陽台支所開設

平成8 (1996) 年 7月	泉沢自然の森キャンプ場オープン
10月	泉沢開発事業最終完了検査
9 (1997) 年 3月	竣工記念誌<泉沢～森の中の新しい都市>完成
4月	泉沢小学校開校
10 (1998) 年 7月	泉沢向陽台1万人達成セレモニー実施
10月	泉沢竣工記念事業実施
13 (2001) 年 1月	向陽台病院開院
16 (2004) 年 4月	いずみざわ児童館開館
17 (2005) 年12月	道道泉沢新千歳空港線 供用開始
25 (2013) 年 8月	道央自動車道新千歳空港インターチェンジ開業
26 (2014) 年 3月	千歳市土地開発公社解散
29 (2017) 年 4月	北海道千歳リハビリテーション大学開学 向陽台ファミリークリニック開院

開発振興課

(2) 水道事業

昭和27 (1952) 年 4月	水道事業施行議案可決
5月	上水道新設工事認可申請 (昭和28年 3月認可) 給水人口 22,000人 1人当たり225ℓ/日 最大配水量 4,950m ³ /日 計画目標年次 昭和37年度 浄水施設: (春日浄水場) 千歳川伏流水 配水施設: 高架水槽・自然流下
9月	湖畔地区簡易水道工事施行議案可決
28 (1953) 年 4月	簡易水道布設工事認可申請 (昭和28年 5月認可) 給水人口 2,000人 1人当たり150ℓ/日 最大配水量 450m ³ /日 計画目標年次 昭和43年度
12月	上水道新設工事着手 簡易水道布設工事着手 (昭和29年 3月完成)
29 (1954) 年 6月	千歳町上水道条例制定
30 (1955) 年 1月	春日浄水場給水開始
32 (1957) 年12月	創設工事完成 総事業費 87,509千円
36 (1961) 年12月	第1期拡張工事事業変更申請・認可 給水人口 40,000人 1人当たり250ℓ/日 最大配水量 10,000m ³ /日 計画目標年次 昭和46年度 取水施設: 内別川取水堰 導水施設: 沈砂池、導水管 浄水施設: (蘭越浄水場) 緩速ろ過池、塩素滅菌設備、浄水池 送水施設: 送水ポンプ室、送水ポンプ、送水管 配水施設: 配水管
37 (1962) 年 8月	第1期拡張工事着手
39 (1964) 年10月	事業変更認可申請 (第1期拡張事業変更) 予定事業費 280,000千円 浄水施設: 緩速ろ過池から急速ろ過池に変更 配水施設: 配水管
12月	蘭越浄水場給水開始
40 (1965) 年 4月	料金改定 上水道36%値上げ
42 (1967) 年 3月	第1期拡張工事完成 総事業費 221,905千円
43 (1968) 年 3月	中央長都地区開拓地に特別給水
44 (1969) 年 3月	第2期拡張工事事業変更申請・認可 給水人口 85,000人 1人当たり400ℓ/日 最大配水量 34,000m ³ /日 計画目標年次 昭和58年度 予定事業費 755,000千円 取水施設: 内別川取水堰増改造 導水施設: 導水管変更 浄水施設: 着水井、混和池、急速ろ過池増設、塩素滅菌設備増設

- 昭和44 (1969) 年 3月 送水施設：送水管増設、送水ポンプ室増設、送水ポンプ変更
配水施設：配水池増設、配水管
- 8月 第2期拡張工事着手
- 45 (1970) 年 7月 ナイベツ川原水汚濁防止のため薬品混和池、沈澱池の補修着手 (昭和46年12月完成)
- 46 (1971) 年10月 長都・釜加地区水道施設工事着手 (昭和51年3月完成)
- 47 (1972) 年 2月 事業変更認可申請 (第2期拡張事業変更)
配水人口 85,000万人 1人1日最大給水量 400ℓ/日
1日最大給水量 34,000m³/日 計画目標年次 昭和58年度
予定事業費 1,170,000千円
浄水施設：混和地変更、フロック形成池、沈殿池
送水施設：送水ポンプ室増設
- 12月 駒里地区に専用水道利用組合設立、上水道分水
- 48 (1973) 年12月 航空自衛隊千歳基地へ分水開始
- 49 (1974) 年10月 陸上自衛隊北千歳駐屯地へ分水開始
- 50 (1975) 年11月 陸上自衛隊東千歳駐屯地へ分水開始
- 51 (1976) 年 7月 料金改定 上水道、簡易水道61.76%値上げ
- 53 (1978) 年 2月 第2期拡張工事事業の一部変更申請・認可
給水人口 68,250人 1人1日最大給水量 498ℓ/日
1日最大給水量 34,000m³/日 計画目標年次 昭和58年度
事業費継続分 1,670,934千円 } 2,770,405千円
新規分 1,099,471千円 }
送水施設：送配水管、泉沢送水ポンプ
配水施設：泉沢高架配水池、駒里配水池 (ポンプ)、泉郷配水池 (ポンプ)、
塩素滅菌設備 (駒里、泉郷)
- 3月 駒里専用水道廃止
- 4月 支笏湖畔地区簡易水道第1期拡張事業変更申請・認可
給水人口 450人 1人当たり最大給水量 2,888ℓ/日
最大給水量 1,300m³/日 計画目標年次 昭和62年度
取水施設：深井戸
導水施設：導水ポンプ・導水管
浄水施設：混和池
配水施設：配水池・配水本管
- 55 (1980) 年 4月 料金改定 簡易水道272.24%値上げ
- 57 (1982) 年 2月 第3期拡張工事事業変更申請・認可
給水人口 77,400人 1人1日最大給水量 542ℓ/日
1日最大給水量 42,000m³/日 計画目標年次 昭和60年度
予定事業費 4,347,000千円
取水施設：祝梅川取水井
導水施設：祝梅川集水井
浄水施設：浄水池
送水施設：送水ポンプ増設
配水施設：蘭越配水池増設、上長都高架配水池、配水管
- 58 (1983) 年 4月 料金改定 上水道45.5%値上げ
- 12月 上長都高架配水池 (球形RCドームPC造 2,034 m³) 新設
- 59 (1984) 年 4月 石狩東部広域水道企業団 (漁川浄水場) から受水開始
- 62 (1987) 年 3月 薬品沈澱池 1池 (12,500m³) 築造
第4期拡張工事事業変更申請・認可
給水人口 82,470人 1人1日最大給水量 544ℓ/日
1日最大給水量 44,800m³/日 計画目標年次 平成4年度
予定事業費 2,676,000千円
浄水施設：フロック形成池増設、沈殿池増設
送水施設：送水ポンプ増設、泉沢送水ポンプ増設、送水管
配水施設：蘭越配水池変更、配水管
- 63 (1988) 年 7月 東千歳地区水道管布設工事着手 (平成元年11月完成)
- 12月 東千歳地区一部給水開始

平成元(1989)年4月	料金改定 上水道、簡易水道3%値上げ(消費税相当分)
10月	名水ふれあい公園開園
2(1990)年4月	料金改定 上水道、簡易水道1.93%値下げ
3(1991)年6月	事業変更認可申請(第4期拡張事業変更) 第4期拡張工事事業変更申請・認可
	給水人口 82,200人 1人1日最大給水量 544ℓ/日 1日最大給水量 44,800m ³ /日 計画目標年次 平成5年度 予定事業費 2,677,000千円
	取水施設:千歳川取水口 導水施設:千歳川導水管、導水ポンプ 浄水施設:蘭越配水池変更
4(1992)年2月	千歳川からの取水開始(祝梅川水利権の振替)
6(1994)年8月	第5期拡張工事事業変更申請・認可
	給水人口 89,400人 1人1日最大給水量 568ℓ/日 1日最大給水量 50,800m ³ /日 計画目標年次 平成10年度 予定事業費 6,491,100千円
	取水施設:深井戸 導水施設:導水管 配水施設:塩素滅菌設備、オゾン接触層、活性炭接触
7(1995)年11月	千歳市公営企業経営審議会設置
8(1996)年4月	新千歳空港周辺プロジェクト関連の幹線配水管整備事業着手(平成15年3月完成)
7月	地下水高度浄水処理施設稼動
10月	料金改定 上水道45.90%、簡易水道28.39%値上げ
9(1997)年4月	料金改定 上水道、簡易水道2%値上げ(消費税相当分)
10(1998)年3月	蘭越浄水場新管理棟完成
10月	蘭越浄水場浄水池及び送水ポンプ場建設着手
12(2000)年3月	蘭越浄水場浄水池及び送水ポンプ場供用開始
4月	下水道事業と組織統合
13(2001)年4月	水道局新庁舎新築移転
15(2003)年11月	フロック形成池・沈澱池機械設備・上屋建築工事着手
17(2005)年2月	薬品注入設備増設(建築・機械・電気)
3月	フロック形成池・沈澱池機械設備・上屋建築工事完成
7月	急速ろ過池洗浄強度増強工事着手
8月	第6期拡張事業変更申請・認可
	給水人口 93,900人 1人1日最大給水量 597ℓ/日 1日最大給水量 54,400m ³ /日 計画目標年次 平成27年度 配水施設:配水池新設
18(2006)年9月	臨空工業団地配水池・泉沢幹線配水管事業着手
20(2008)年10月	臨空工業団地配水池工事着手
21(2009)年3月	泉沢幹線配水管工事着手
	急速ろ過池洗浄強度増強工事完成
24(2012)年8月	事業変更認可申請(第6期拡張事業変更)
	給水人口94,800人 1人1日最大給水量 574ℓ/日 1日最大給水量 54,400m ³ /日 計画目標年次 平成34年度 配水施設:排水管
26(2014)年4月	料金改定 上水道、簡易水道3%値上げ(消費税相当分)
27(2015)年3月	臨空工業団地配水池・泉沢幹線配水管供用開始
4月	石狩東部広域水道企業団(千歳川浄水場)から受水開始
30(2018)年4月	料金改定 上水道17.5%値上げ
令和元(2019)年10月	料金改定 上水道、簡易水道2%値上げ(消費税相当分)

水道局経営管理課

(3) 清掃事業

昭和31 (1956) 年	清掃条例施行 じん芥は特別清掃区域を設け、町（失業対策事業）が処理
33 (1958) 年	市制施行、計画収集地域を定め、市直営じん芥計画収集を実施 じん芥処理手数料賦課制徴収
34 (1959) 年	じん芥捨場指定（美々）
37 (1962) 年	清掃条例全面改正、「千歳市清掃条例」制定
39 (1964) 年	じん芥処理手数料賦課制から従量制に改正
42 (1967) 年	未広し尿処理場完成運転開始（嫌気性加温消化方式、処理能力54kl/日）
43 (1968) 年	千歳市衛生団体連合会発足
44 (1969) 年	じん芥収集従量制からバック方式（紙袋）に改正、手数料無料化実施、市内 ごみ箱全廃清掃センター完成
47 (1972) 年	廃棄物の処理及び清掃に関する条例施行 事業系廃棄物処理、埋立手数料徴収
48 (1973) 年	じん芥、し尿計画収集完全実施（市街区区域内） 美々廃棄物処理場（約12ha） 汚水浄化槽設置 農村地域じん芥収集実施（3回/年） 大型じん芥収集実施（1回/月）
55 (1980) 年	千歳市廃棄物処理計画の基本構想策定 トラックスケール施設装置
56 (1981) 年	千歳市環境保全公社設立（7月19日財団法人）
57 (1982) 年	千歳市リサイクルセンター完成
59 (1984) 年	有害物を多く含んだ特定のごみ分別収集実施（1回/月） 美々廃棄物埋立処分場及び浸出水処理施設設置 一般家庭じん芥（可燃ごみ・不燃ごみ）分別モデル地区（3地区）設定、 分別収集実施
60 (1985) 年	普通じん芥（可燃ごみ・不燃ごみ）分別収集実施 千歳市環境センター破砕処理場完成
63 (1988) 年	千歳市一般廃棄物処理基本計画策定
平成2 (1990) 年 1月	千歳市環境センター焼却処理場、管理棟及び車庫棟完成
3 (1991) 年 4月	コンポスト容器購入補助金助成開始
5 (1993) 年 4月	千歳市廃棄物の処理及び清掃に関する条例全部改正
9月	千歳市廃棄物減量等推進審議会設置
6 (1994) 年 3月	汚水投入施設稼働（処理能力28kl/日） 小動物焼却施設建設（焼却能力最大170kg/時間）
4月	廃棄物処理手数料改定（じん芥処理手数料、埋立等処分手数料）
7 (1995) 年 3月	千歳市廃棄物最終処分場建設（防衛補助） 埋立面積46,800㎡（容積362,764㎡） 浸出水処理施設 平均120㎡/日
8 (1996) 年 4月	収集曜日の変更
9 (1997) 年 4月	農村地域（3回/月）から（4回/月）へ変更
10月	市指定ごみ袋の実施
10 (1998) 年 4月	中心街事業系廃棄物の自己処理化実施（プリペイド方式の導入） 千歳市一般廃棄物処理基本計画改定
11 (1999) 年 5月	容器包装リサイクル法に基づく第2期「千歳市分別収集計画」策定
13 (2001) 年 4月	千歳市廃棄物の処理等に関する条例の一部改正 新リサイクルセンター完成運転開始 4種資源物収集（1回/週）の実施 市街地区じん芥収集運搬業務の完全民間委託 祝日収集の実施 大型ごみの戸別収集実施 特定家庭用機器の戸別収集実施 有害ごみ収集（1回/月）から（1回/週）へ変更
15 (2003) 年 3月	千歳市一般廃棄物処理基本計画改定
4月	農村地域の可燃ごみ収集（2回/月）から（1回/週）へ変更
16 (2004) 年 3月	千歳市廃棄物の処理等に関する条例の一部改正

- 平成17 (2005) 年 3月 2号焼却炉のダイオキシン対策工事完了 (防衛補助事業)
 4月 廃棄物処理手数料改定 (じん芥処理手数料、埋立等処分手数料)
 6月 容器包装リサイクル法に基づく第4期「千歳市分別収集計画」策定
 12月 千歳市廃棄物最終処分場 (第3埋立処理場) 建設 (防衛補助)
 埋立面積45,000㎡ (容積310,000㎡)
 浸出水処理施設 120㎡/日
- 18 (2006) 年 3月 千歳市一般廃棄物処理基本計画改定
 5月 家庭ごみの有料化実施
 11月 千歳市廃棄物最終処分場 (第2埋立処理場) 埋立終了
- 19 (2007) 年 3月 南空知公衆衛生組合「可燃性一般廃棄物の処理に関する協定書」締結
 (期間: H19年度試験受入・H20・4・1からH27・3・31まで)
 6月 容器包装リサイクル法に基づく第5期「千歳市分別収集計画」策定
- 21 (2009) 年 4月 廃棄物処理手数料改定 (事業系一般廃棄物処理手数料、産業廃棄物処分費用、
 し尿処理手数料、浄化槽汚泥処理手数料、生活雑排水処理手数料)
- 22 (2010) 年 4月 千歳市環境センターの施設運営管理を民間企業に全面委託
 6月 容器包装リサイクル法に基づく第6期「千歳市分別収集計画」策定
 12月 プラスチック製容器包装有料収集開始に伴う千歳市廃棄物の処理等に関する
 条例の一部改正
- 23 (2011) 年 3月 千歳市一般廃棄物処理基本計画改定
 8月 新破碎処理場 (太陽光発電装置付) 完成運転開始
 10月 プラスチック製容器包装収集 (1回/週) の実施
- 24 (2012) 年 3月 道央地域ごみ処理広域化推進協議会に参画表明
 5月 第24回道央地域ごみ処理広域化推進協議会開催、千歳市の参画が決定、千歳
 市長が会長に就任
 10月 新たな集団資源回収システム (奨励金方式) の実施
- 25 (2013) 年 1月 第25回道央地域ごみ処理広域化推進協議会開催、次年度事業計画及び予算の決定
 6月 容器包装リサイクル法に基づく第7期「千歳市分別収集計画」策定
 11月 第26回道央地域ごみ処理広域化推進協議会開催、道央廃棄物処理組合の設立
 を決定、栗山町は同組合への不参加を表明
- 26 (2014) 年 1月 第27回道央地域ごみ処理広域化推進協議会開催、道央廃棄物処理組合の設立
 に伴う同協議会の解散を決定
 2月 道央廃棄物処理組合設立、千歳市長が管理者に就任
 3月 道央地域ごみ処理広域化推進協議会解散
 4月 廃棄物処理手数料改定 (事業系一般廃棄物処理手数料、産業廃棄物処分費
 用、し尿処理手数料、浄化槽汚泥処理手数料、生活雑排水処理手数料) 使用
 済み小型家電の回収を実施
 道央廃棄物処理組合第1回臨時会開催
 12月 南空知公衆衛生組合「可燃性一般廃棄物の処理に関する協定書」延長
 (期間H27.4.1からH36.3.31まで)
- 27 (2015) 年 3月 道央廃棄物処理組合「ごみ処理広域化基本計画」策定
 10月 道央廃棄物処理組合に栗山町が加入
- 28 (2016) 年 3月 千歳市一般廃棄物処理基本計画改定
 道央廃棄物処理組合「ごみ処理広域化基本計画」改定
 5月 千歳市災害廃棄物処理計画策定
 6月 容器包装リサイクル法に基づく第8期「千歳市分別収集計画」策定
 12月 焼却施設の建設費及び維持管理費に係る関係市町の負担割合の規定により、
 組合規約を一部変更
- 29 (2017) 年 2月 道央廃棄物処理組合「千歳市根志越」を建設予定地とする
- 30 (2018) 年 3月 道央廃棄物処理組合「焼却施設基本設計」策定
- 31 (2019) 年 1月 ごみ処理量の変更に伴い、焼却施設の建設費に関わる関係市町の負担割合の
 規定により、組合規約を一部変更
 2月 焼却施設の建設予定地に係るすべての地権者と土地売買契約などを締結
 4月 廃棄物処理手数料改定 (事業系一般廃棄物処理手数料、産業廃棄物処分費
 用、し尿処理手数料)
- 令和元 (2019) 年 6月 容器包装リサイクル法に基づく第9期「千歳市分別収集計画」策定

(4) 病院事業

- 昭和22（1947）年1月 日本医療団千歳病院開院（旧・千歳海軍航空隊外洒保）
23（1948）年8月 道立千歳病院となる
病床数 50
診療科 内科・外科・産婦人科
- 42（1967）年4月 道から移管、千歳市立病院となる
病床数 132
診療科 内科・外科・小児科・産婦人科・整形外科・耳鼻咽喉科
- 48（1973）年8月 病院増改築第1期工事着工
50（1975）年 第2期工事完成 病床数200（一般病棟171・結核病棟29）
51（1976）年3月 増改築全工事完成 千歳市立総合病院と改称
眼科・皮膚科開設
- 59（1984）年4月 泌尿器科開設
- 平成2（1990）年4月 麻酔科開設
6（1994）年4月 泉郷診療所開設
12（2000）年4月 支笏湖診療所 保健福祉部より所属替え
13（2001）年10月 脳神経外科開設
14（2002）年9月 市立総合病院新築移転（一般病棟190床）
市立千歳市民病院と改称
循環器科開設
- 15（2003）年10月 消化器科開設
17（2005）年4月 地域医療連携室設置
18（2006）年12月 （公財）日本医療機能評価機構による「病院機能評価（Ver.5）」の認定を受ける
20（2008）年7月 看護基準7対1取得
21（2009）年2月 市立千歳市民病院改革プラン策定
3月 電子カルテシステム導入
4月 D P C（診断群分類による包括医療制度）運用開始
- 24（2012）年1月 （公財）日本医療機能評価機構による「病院機能評価（Ver.6）」の認定を更新する
25（2013）年4月 医療安全管理室、感染対策室設置
7月 助産外来開設
- 26（2014）年3月 市立千歳市民病院中期経営計画策定
29（2017）年2月 （公財）日本医療機能評価機構による「病院機能評価（3rdG:Ver.1.1）」の認定を更新する
3月 地域包括ケア病床開設（16床）
市立千歳市民病院中期経営計画（改訂版）策定
7月 千歳市地域連携ネットワークシステム「ちえネット」運用開始
- 令和元（2019）年6月 入院支援センター開設
10月 緩和ケア病床開設（2床）

市立千歳市民病院事務局総務課

(5) 下水道事業

- 昭和36（1961）年8月 都市下水路として下水道事業着手
39（1964）年5月 千歳市公共下水道事業認可（第1次（当初）認可）
処理面積 130ha
6月 千歳市下水道条例制定
44（1969）年7月 第2次（第1回変更）認可
処理面積 330ha
- 46（1971）年5月 千歳下水終末処理場建設着手
48（1973）年6月 第3次認可

昭和48	(1973)	年 6月	処理面積 990ha
51	(1976)	年 4月	千歳市水洗便所改造資金貸付条例制定
		5月	千歳下水終末処理場運転開始
			処理能力 7,400m ³ /日
52	(1977)	年 2月	第4次認可（支笏湖畔特定環境保全公共下水道事業の追加）
			処理面積（支笏湖畔特定環境保全公共下水道事業のみ）31ha
		7月	東雲汚水中継ポンプ場建設着手
		12月	第5次認可（支笏湖畔下水終末処理場構造変更）
53	(1978)	年 4月	東雲汚水中継ポンプ場運転開始
		12月	支笏湖畔下水終末処理場建設着手
54	(1979)	年 4月	千歳下水終末処理場第1系列拡張完了運転開始
			処理能力 22,200m ³ /日
		10月	第6次認可（泉沢地区の区域拡大）
			処理面積 1,519ha
58	(1983)	年 2月	下水道使用料改定
			支笏湖畔特定環境保全公共下水道事業受益者分担金に関する条例制定
		8月	支笏湖畔下水終末処理場（支笏淨湖苑）運転開始
			処理能力 1,080m ³ /日
59	(1984)	年 2月	千歳川横断下水道工事完成
			口径 3,000mm
		4月	豊里汚水中継ポンプ場運転開始（暫定）
60	(1985)	年12月	第1・2・3工業団地污水受入開始
61	(1986)	年 4月	千歳下水終末処理場第2系列運転開始
			処理能力 29,600m ³ /日
62	(1987)	年 3月	第7次認可（泉沢地区の区域拡大）
			処理面積 1,970ha
		4月	豊里汚水中継ポンプ場運転開始
			千歳下水終末処理場第2系列拡張完了運転開始
			処理能力 44,400m ³ /日
63	(1988)	年 7月	第8次認可（旭ヶ丘、上長都地区の区域拡大）
			処理面積 2,054ha
		12月	デザイン公共樹蓋設置（仲の橋通）
平成4	(1992)	年 2月	千歳下水終末処理場第3系列運転開始
			処理能力 56,000m ³ /日
		3月	第9次認可（美々汚泥処理センターを反映）
			処理面積 2,590ha
5	(1993)	年 4月	第10次認可（合流区域の分流化を反映）
			処理面積 2,730ha
6	(1994)	年 2月	第11次認可（支笏湖畔処理区拡張）
			処理面積（支笏湖畔特定環境保全公共下水道事業のみ）40ha
		4月	個別排水処理施設整備事業開始
		6月	第12次認可（美々、流通地区の区域拡大）
			処理面積 3,016ha
7	(1995)	年 3月	千歳下水終末処理場汚泥乾燥設備運転開始
		7月	千歳市特定環境保全公共下水道事業受益者分担金条例制定
8	(1996)	年 1月	第13次認可（OA、根志越第3地区の区域拡大）
			処理面積 3,078ha
		3月	千歳下水終末処理場第3条系列拡張完了運転開始
			処理能力67,600m ³ /日
9	(1997)	年 3月	美々汚泥処理センター建設工事着手
10	(1998)	年 8月	第14次認可（勇舞、根志越第4、蘭越地区の区域拡大）
			処理面積 3,197ha
11	(1999)	年 6月	第15次認可（蘭越地区の区域拡大）
			処理面積 3,216ha
12	(2000)	年 4月	地方公営企業法適用し、水道事業と組織統合

平成12 (2000) 年 6月	第16次認可 (みどり台、北信濃第3地区の区域拡大) 処理面積 3,309ha
13 (2001) 年 4月	水道局新庁舎に移転
8月	第17次認可 (勇舞第2地区を区域拡大) 処理面積 3,319ha 千歳下水終末処理場を千歳市浄化センターへ、美々汚泥処理センターを千歳市スラッジセンターへ名称変更
15 (2003) 年 4月	千歳市スラッジセンター第1系列供用開始
16 (2004) 年 3月	第18次認可 (支笏湖畔特定環境保全公共下水道事業の期間延伸)
10月	千歳市浄化センター第4系列運転開始 処理能力 79,200m ³ /日
18 (2006) 年 3月	第19次認可 (事業期間延伸)
19 (2007) 年 3月	第20次認可 (合流式下水道緊急改善事業を反映)
4月	千歳市スラッジセンター第2系列供用開始
20 (2008) 年 4月	第21次認可 (北陽高校前地区の区域拡大) 処理面積 3,350ha
21 (2009) 年 1月	第22次認可 (あずさ地区の区域拡大) 処理面積 3,357ha
23 (2011) 年 2月	第23次認可 (支笏湖畔特定環境保全公共下水道事業の期間延伸)
24 (2012) 年 2月	第24次認可 (千歳処理区と支笏湖畔処理区の統合を反映) 処理面積 3,402ha 浄化センターの処理能力 74,200m ³ /日 浄化センター場内ポンプ場雨水滞水池供用開始
26 (2014) 年 3月	第25次認可 (平和地区の区域拡大) 処理面積 3,452ha 浄化センターの処理能力 64,200m ³ /日 水処理系列を4.0系列から3.5系列に変更
4月	下水道使用料改定 3%値上げ (消費税相当分)
28 (2016) 年 6月	第26次認可
29 (2017) 年 4月	支笏湖畔処理区の汚水の浄化センターへの汚水流下開始
9月	第27次認可 (千歳川第15排水区と第16排水区の区域変更)
30 (2018) 年 4月	下水道使用料改定 15.0%値下げ
31 (2019) 年 2月	第28次認可 (千歳市スラッジセンターの汚泥処理方法変更)
令和元 (2019) 年 10月	下水道使用料改定 2%値上げ (消費税相当分)

水道局経営管理課

3 資料入手先一覧

章	事業所名	住 所 地	電 話
1	新千歳航空測候所観測課	千歳市美々	0123 45-7712
4	国立研究開発法人水産研究・教育機構北海道区水産研究所千歳さけます事業所	千歳市蘭越無番地	0123 23-2804
7	道央農業協同組合千歳支店金融課	千歳市高台5丁目1-15	0123 23-5151
7	千歳金融協会	千歳市千代田町3丁目11番地北洋銀行千歳中央支店内	0123 23-3111
8	東京航空局新千歳空港事務所	千歳市美々	0123 23-4101
8	北海道運輸局札幌運輸支局	札幌市東区北28条東1丁目	011 731-7166
8	日本郵便株式会社北海道支社総務・人事部企画担当	札幌市中央区北2条西4丁目3	011 214-4013
8	NEXCO東日本北海道支社総合企画部総合企画課	札幌市厚別区大谷地西5丁目12-30	011 896-5804
8	北海道旅客鉄道(株)経営企画部	札幌市中央区北11条西15丁目	011 700-5717
8	新千歳空港ターミナルビルディング(株)	千歳市美々987-22	0123 46-5100
8	千歳地区ハイヤー事業協同組合	千歳市末広1丁目4-8	0123 23-2731
8	北海道中央バス(株)運輸部業務課	札幌市中央区大通東1丁目3	011 221-5163
8	道南バス(株)営業部営業課	室蘭市東町3丁目25-3	0143 45-2131
8	千歳相互観光バス(株)	千歳市里美2丁目1-5	0123 28-8822
8	あつまバス(株)	勇払郡厚真町字本郷229-1	01452 7-2311
8	NTT東日本-北海道企画情報セキュリティ担当	札幌市中央区北1条西4丁目	011 212-4479
9	北海道開発局札幌開発建設部公物管理業務課	札幌市北区北2条西19丁目	011 611-0111
9	北海道空知総合振興局札幌建設管理部千歳出張所	千歳市桂木6丁目1-28	0123 23-4191
10	王子製紙(株)苫小牧工場動力部動力課	苫小牧市王子町2丁目1-1	0144 32-0438
10	北海道電力(株)千歳支社	千歳市北栄2丁目2	0123 23-5101
10	北海道ガス(株)千歳支店(営業グループ)	千歳市清水町1丁目1-1	0123 26-8600
11	北海道石狩振興局地域政策部総務課	札幌市中央区北3条西7丁目5	011 231-4111
11	北海道千歳高等学校	千歳市北栄1丁目4-1	0123 23-9145
11	北海道千歳北陽高等学校	千歳市北陽2丁目10	0123 24-2818
11	北海道千歳高等支援学校	千歳市真々地2丁目3-1	0123 23-6681
11	公立千歳科学技術大学	千歳市美々758-65	0123 27-6001
11	北海道千歳リハビリテーション大学	千歳市里美2丁目10	0123 28-5331
12	千歳公共職業安定所	千歳市東雲町4丁目2-6	0123 24-2177
12	北海道石狩振興局産業振興部商工労働観光課	札幌市中央区北3条西7丁目5	011 231-4111

章	事業所名	住 所 地	電 話
13	北海道石狩振興局保健環境部千歳地域保健室	千歳市東雲町4丁目2	0123 23-3175
14	北海道警察札幌方面千歳警察署	千歳市東雲町5丁目	0123 42-0110
16	北海道運輸局室蘭運輸支局苫小牧海事事務所	苫小牧市港町1丁目6-15	0144 32-5901
19	陸上自衛隊第七師団司令部総務課	千歳市祝梅1016	0123 23-5131
19	陸上自衛隊第一特科団本部広報班	千歳市北信濃724番地	0123 23-2106
19	陸上自衛隊第一高射特科団第一科広報班	千歳市祝梅1016	0123 23-5131
19	航空自衛隊千歳基地第2航空団司令部広報室	千歳市平和無番地	0123 23-3101

1 資料入手先事業所名は順不同
総務課

要覧ちとせ

令和2年版

令和2年9月発行

発行 北海道千歳市

〒066-8686 千歳市東雲町2丁目34番地

編集 千歳市総務部総務課

電話 (0123) 24-0137(直通)

印刷 千歳印刷株式会社
